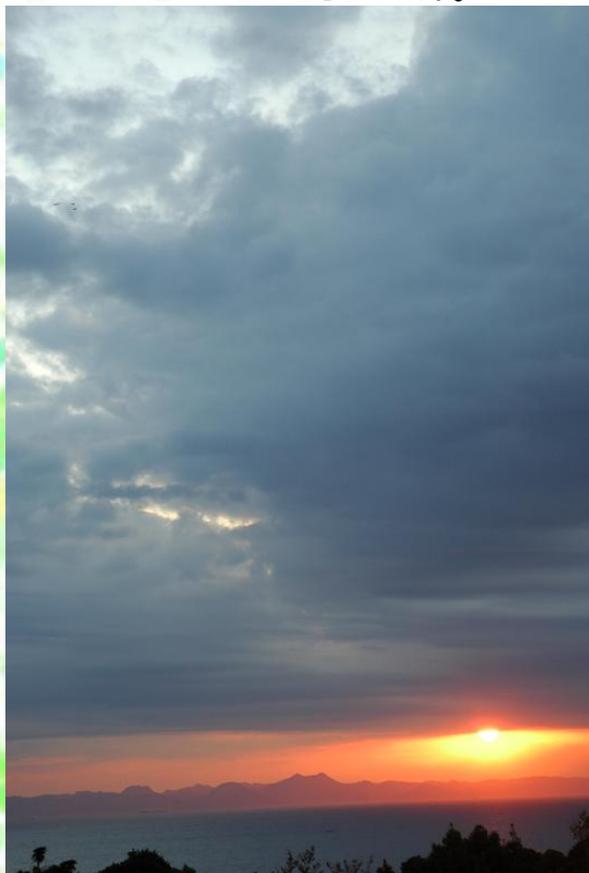


WACATE WACATE Magazine Vol.25 開巻劈頭!

✿ご挨拶✿

WACATE-Magazine をご覧の皆様、こんにちは。
WACATE-Magazine 編集部です。

やってきました! WACATE 2010 冬!
「開巻劈頭」は物語のはじまりという意味です。
今回の WACATE 2010 冬から始まる物語がたくさん生まれることを願います。



三浦の朝に日が差したところです。

たくさんのご参加、誠に有難うございました。

ここから始めましょう。
一歩を踏み出した皆さんの物語を
WACATE-Magazine はお待ちしております!

さあ、怒涛の vol.25、WACATE 2010 冬レポート
はじまるよー!

✿お品書き✿

【特集1】

WACATE 2010 冬～温故知新～レポート!
～君も歴史を刻め～

【特集2】

WACATE 2010 冬 BPP 賞レポート

【特集3】

もうひとつの WACATE 2010 冬

【特集4】

JaSST' 11 Tokyo

【コラム】

WACATE 2010 冬 後夜祭

【リレーコラム】

ワカテにきく。

【リレーコラム】

Software Test Topics

【新企画・雑談すべしやる】

てすバナ語るっcha! トライアル

【連載】

ミュージカルに恋して

【リレーコラム】

WACATE-Blog 出張所

【連載】

源太郎のソフトウェアテスト占い

【おとがき】

✿WACATE Topics✿

C79(東京ビッグサイト)に
Software Testing ManiaX が降臨!

JaSST' 11 Tokyo のメディアスポンサーに
WACATE-Magazine 編集部!
メディアブースをお楽しみに!

WACATE 2010 Winter Report!

～君も歴史を刻め～

お待たせいたしました!



前夜から来られた方は見られたと思いますが
今年はイルミネーションが綺麗だったマホロバ・マインズ三浦にて、やってきました

WACATE 2010 冬!

どーんとレポートを公開です!

■■■■12/15(土) WACATE 2010 冬 1日目■■■■

■受付



今年の受付はいつも通りイケメン加瀬さん+きゅみタソで対応でしたね!

さあ、これから2日間が始まるということもあり、ロビーと会場に少し緊張感が漂います。

■オープニング

司会:坂 静香

□実行委員レポート

いよいよ始まりましたWACATE 2010冬。もはや定番、奥村さんの挨拶から今回も始まりました。



まずは、新副実行委員長のばんちゃん(ネコミミ)よりオープニングのご挨拶。

なんと、早い人は朝5時頃から起きて行動開始!眠い目をこすりながら皆さん三浦へいらしています。

「元気ですかー?」「いえー」と皆さんノリノリです(棒読み)。

その後、同じく今回から新共同実行委員長のやまさきさん(ネコミミ)から皆様へのご挨拶。

精一杯、”楽しんで”帰ってほしいと実行委員一同の想いを皆さんにお伝えしました。

その後、ばんちゃんにマイクを戻し、本格的なオープニングが開始。

- ・WACATE の紹介
- ・2日間の楽しみかた
- ・参加にあたってのお願いという流れで皆さんにWACATE とは何ぞやをご紹介していきます。



2007年から始まったWACATEも3周年!ラッキーナンバーの7回目。

冬のスタイル「広く・浅く」に基づき、今回のテーマ「温故知新」を学んでいきます!

(ニー)

□参加者レポート

2010年12月18日、9時30分。

さあ、いよいよWACATE2010冬の始まりです。

前回のWACATE2010夏までは、スター★やまさきさんが司会を担当されていたのですが、今回は、副実行委員長の坂さんが担当です。

ネコ耳です♪

ネコ耳です♪♪

坂さんがネコ耳を付けての登場です♪♪♪

すばらしい～

坂さんの「おはようございますっ!」という挨拶に、「おはようございますっ!」という参加者からの元気のよい返事。



オープニングセッションでは、参加者への心構えや諸注意、連絡事項などの説明がされました。

オープニングセッションが始まると、いつも「WACATEが始まった！」とワクワクします。

(うえだ)

■ ポジションペーパーセッション

モデレータ：井芹 洋輝

□ 実行委員レポート

そして、引き続き実行委員の井芹さん(アフロ)による、定番「ポジションペーパーセッション」が始まります。

海が近いということで、各テーブルの海側の方が発表一番手という三浦開催という立地を活かした順番決めにより開始です！

発表が進むにつれ、心なしか、聴講するメンバの相槌も大きくなってきます。



今の業務、悩み、興味のあるトピックス、今回のWACATEに来たきっかけ、これまでのWACATEで得たもの、趣味、ネタ・・・と、皆さん、**語りたことを詰め込めるだけ詰め込んだ非常に濃密な3分間！！**

ゴングの音等、聞こえないかのごとく続く発表を泣く泣く切りつつ、発表は進んでいきます。

1巡したところで、席替えを行います。

この班メンバはこの先2日間のワークをずっと行う班です。自分のことを知ってほしい、仲間のことを知りたいという思いからか、2巡目はより賑やかに発表が進んでいきました。

そして、最後少し時間が余ったため、**皆さんの“気になる”ポジションペーパー**をチョイス。登壇していただき、ポジペの解説をしていただきました。

年々、力作が増えていくポジションペーパー、果たして今年は何のポジペがBPP賞に輝くのでしょうか？

(二)

□ 参加者レポート

モデレータは、新しくWACATE実行委員会に加わりました井芹さんが担当されました。

おお、名物の**ゴールデンアフロ**だ。

オープニングセッションでスター★やまさきさんが登場しなかったの、今回はアフロはないのかなと思っていたのですが、安心しましたっ！！

ポジションペーパーセッションは、**参加者同士で自己紹介を行うセッション**になります。

全員の前で自己紹介を行うのではなくて、班のメンバー内での自己紹介になります。

そのときに用いるのが事前に提出した**A4一枚のポジションペーパー**になります。

まずは、誰から自己紹介を始めるか、どういう順番で自己紹介をしていくかを軽く話しあって、自己紹介のはじまり、はじまり。開始の合図とともに各版それぞれで自己紹介が一斉にスタートするので、いままで静かだった会場が急に賑やかになります。

自己紹介の時間は**一人3分間**。

ポジションペーパーを使って、めいっばい自己紹介をします。

そして、3分経つとゴングがなり、**強制的に自己紹介は終了**しちゃいます。

なかなか3分間話すというのは難しいもので、自分を知ってもらうためには、**こんなことも伝えなきゃ、あんなことも伝えなきゃ**と、具沢山の内容にすると途中で終了してしまうし、サッパリしたことだけでは、んー、あんまり自分を紹介しきれてないし、時間が余っちゃう。。

班のメンバーが一巡すると、ポジションペーパーセッションは終了～ではないのです！

なんと、班替えが行われて、**もう一回自己紹介の時間があります**。

最初に組んだ班は「**ポジションペーパーセッションだけの班**」であり、班替え後のメンバーが**二日間のワークショップを進めるメンバー**になります。

班替えをして、もう一回自己紹介の開始です。

1回目の自己紹介のときの経験があるので、2回目はスムーズに「何をアピールしたいのか」に焦点をあてて話すことが出来るようになります。

面白いもので、聞き手側も「こういう聞き方しよう」「こういう質問してみよう」などなど。

ということで、このセッションは参加者同士のアイスブレイクもかねているんですね！

声を出すことによって、緊張がほぐれます。

(うえだ)



■BPP セッション

「WACATE とスキーに見る、
加速効果の共通性についての一考察」

講師：小田部 健 氏



□実行委員レポート

ポジションペーパーセッションの次は、前回の WACATE2010 夏で BPP 賞を受賞された小田部さんによる発表です！

まずは、スカイダイビングで「加速」を体験された話から。体験したときの写真には、必死の面持ちで空を降りる小田部さんが。降りていくスピードは非常に速く、空中にいる間、顔の形が変わってしまうほどだったそうです。

本題に入ると、スキーと加速を結びつけた話をされています。フィールドと道具に慣れておくことの大切さや、前向きな気持ちや慣れを利用して心理面のバランスをとる話など、**テストに活用できそうな内容が多数**。スキーでポールの手前から曲がり始めるように周囲を見ながら加速しようという話は、まさにタイトル通り WACATE とスキーを結びつけたものでした。加速できるようになるための話だけではありません。**教える立場へのポジションチェンジなど、加速が十分になった後についての提案**もありました。

途中、参加者にスキーで曲がる時のバランスを疑似体験してもらう場面も。印象的な写真もふんだんに使われており、趣向が凝らされていました。チャンス逃さないように準備しておこうという話もされていましたが、小田部さんご自身の準備の結果が詰められている発表だと感じました。

(おうみ)

□講演者自身のレポートもあるよ！！

講演者小田部さんのレポートはこの特集の最後に掲載しています♪

■セッション2

「技法を勉強する前に」

講師：鈴木 三紀夫



□実行委員レポート

さて、BPP セッションの次は、ミッキーさんと鈴木三紀夫さんによる「技法を勉強する前に」というセッションです。このセッションは、これから二日間にわたって参加者の皆さんが、いったいどのようなことを学ぶのかということをお知らせしていただくこと。そして、同じ班の仲間がどういったテストに関する知識を持っているか棚卸しし、その班の傾向及び特徴を知ることによって今後のセッションを円滑に進めていこうという目的があります。

それでは具体的なセッションの中身をレポートしていきましょう。ミッキーさんのプレゼンを見ていつも感心してしまうのが、その軽快な語り口です。とても柔らかく、丁寧なしゃべり方は、聞いている人にどこか安心感を与えるようです。その語り口で、アイスブレイクがてらの自己紹介でしっかり笑いをとって行きます。

参加者もほぐれたところで、テストライフサイクルの話にはいります。現在はいろいろ言われているけれども、昔はテストの実行しか考えられていなかった。それがいまでは当たり前のようにテスト計画、テスト分析、テスト設計、テスト実装、テスト実行、テスト報告といろいろなアクティビティが定義され、詳細化もされてきたといった流れが説明されます。このテストライフサイクルが構築されていく様を具体的な例なども交えて、分かりやすく説明していきます。そして、テストの全体像を俯瞰してもらったあとに、特にこの後の二つのセッションで行われるワークショップが、テストの設計と実装であることが示されます。ここまでがセッションの前半戦。

次からはミニミニワークショップということで、手を動かしてもらって課題を進めます。課題の内容は次の通り。

1. 普段使っているテスト技法を付箋紙に書きましょう。とくに技法に限らずテストタイプであるとか「～テスト」といった会社で使っている用語を一つずつ付箋紙に書き出していきます。
2. 次に、1で書き出した付箋紙を、班の仲間と相談しつつ、**テスト技法のポジショニングマップ**に貼り付けていきます。

このポジショニングマップ、秋山さんが作成されたもので、テスト技法を4象限で表したものです。実際に秋山さんのサイトに掲載されているので、百聞は一見にしかず、まずご覧になってみてください。
<http://hayst.com/positioning.aspx>。このワークショップで使用したマップは、Webに掲載されているものとはバージョンが異なるもので、**横軸はピンポイントから網羅的と範囲を表し、縦軸は単一機能、組み合わせ、状態遷移や並列処理など、テストの複雑度とも表現すべきものとなっています。**横軸はともかくやはり縦軸のどこにあたるのかがなかなか難しいようで、皆さんいろいろと試行錯誤しながら貼り付けていました。



この貼り付けた結果ですが、班によって如実に特徴があり、おもしろい結果となりました。ある班は、満遍なく付箋紙が貼り付けられていると思えば、とある班は4象限の内ある1象限が非常に薄かったり、ある班では、4象限に貼り付けられないその他のテストが非常に多かったりと、このワークひとつとっても、やはり**会社や個人によってかなりテストといったものに違いがある**ことがわかります。

あーでもない、こーでもない、いろいろと議論が続きますが、残念ながらタイムアップ。この後は昼食となるため、課題はここで終了。この短い時間の中でも、**ドメインの違う人同士が集まって、得手不得手があり、この後のワークを行うにあたりコンテキストを確認しつつ進めて行くことが重要である**ことがわかって頂けたのではないのでしょうか。
(スター)

■ランチ♪

ここで休憩タイム。
 三浦の海の幸や地域の名産を使ったランチをいただきます。すっかりほぐれた仲間たちと談笑しながらランチを食べます。

終わって会場に帰ってくると…



恒例の ManiaX 頒布コーナーが！
 今回も大盛況でした♪

■ワークショップ1

「デジジョンテーブルを使いこなそう！」

講師：加瀬 正樹

□実行委員レポート

WACATE2007 から毎年技法セッションを担当している加瀬さんのセッションです。

今回の技法セッションは120分と拡大版だよ☆

今回は、デジジョンテーブル！！2007でもとりあつかいましたが、今回は更にじっくり紹介。



デジジョンテーブルを構成しているスタブとエントリについての解説、ルールの解説、3種類のテーブル表記の解説が行われました。

今回の演習は制限エントリを使いましょう！とのこと。

制限エントリテーブルの場合、テーブルサイズは2のn乗個となります。

ところどころで指名をしつつ、学校の授業のようですね。

次にテーブルの圧縮についての解説。圧縮をしたら、**検算をしよう！**「-」の個数を数えることで、いくつのケースを圧縮したか、値が出る(圧縮前の時点で何ケースあったかがわかる)。





その後、例題をもとに、デシジョンテーブル作成のコツを交えて解説。

演習問題は4問、さあ手を動かそう！！

40分弱の個人演習。しーんと静まりかえった中、皆さん熱心に取り組んでいます。

加瀬先生が各テーブルを見回ってます。いやホントに先生だわw
そしてカメラマンも撮影で回ってます。いやホントに〇〇〇〇(←好きな語句を入れてください)だわwww



個人演習のあとは、グループでディスカッション。自身の回答の説明、工夫した点、疑問点などを発表しあいます。
時間がたつにつれだんだん立ちあがる人が増えてくるのもWACATEの特徴です。議論が盛り上がっています。
加瀬先生もアドバイス・・・と思ったら、仕様があいまいだと責められてたらしいw

そして、8班が代表してホワイトボードに描いて発表。初参加の方でしたが、堂々とした発表でした！



まとめとして、デシジョンテーブルで注意したいことをお話ししました。

- ・ **経験が必要！**
デシジョンテーブルが適切かどうかの判断
テスト対象の分析
テーブル作成や圧縮作業
- ・ **開発と連携してテーブル作成**
判定順序・動作順序が重要
仕様の曖昧(どちらが先?)を改善する
- ・ **関連するテスト技法・手法を利用**

+最後に、「技」と「術」と「芸」について
・・・芸ですよ芸w

後方で真面目な打ち合わせをしている某実行委員に視線が・・・違うわぁカラー!!!www
ちょびっと意地悪な加瀬先生の授業はこうして終了したのでした♪

(ばんばん)

■ワークショップ2

「どんなテストが必要か考えてみよう」

講師：近江 久美子・井芹 洋輝



□実行委員レポート

次はポジベセッションも担当された井芹さんと、写真大好き近江さんのセッション
「どんなテストが必要か考えてみよう」です。

これまでのセッションでは技法を学んでいきました。しかし、**これを使えば絶対間違いないという技法はありません。**

仕様に対し、**どんな技法が適しているのか？**また都度異なる仕様に対し、**その技法をどのように使うのか？**という技法を使う前の準備も大切です。
このセッションでは、仮定の「三角形判定システム」機能設計仕様書を元に、**実際にデシジョンテーブルを作成するまでの一連のプロセスをグループワークとして体験**します。

限られた時間の中でプロセスをまわし、限られた工数に収まるテストが求められます。

・巨大なデシジョンテーブルではなく、いくつかの小さなデシジョンテーブルに分割する

・全網羅ではなく、危なそう・重要そうな組み合わせを重点的に攻める

デシジョンテーブルに適した/適さない仕様を見極める

といった戦略も考えていく必要があります。

まずは課題1「仕様を分析しよう!」で、仕様をもとに、入力条件/出力条件を抽出、抽出した入力条件/出力条件を整理していきます。

ただ、TBD(挙動未定)な項目があったりこの仕様書、一筋縄ではいかなさそうです。



3色ボールペンを使う班や、処理をフローで整理する班、付箋を多用する班、個人ワークで抽出だけでなく整理までしてから、チーム全体の突合せをする班等、チームの個性が出始めました。



続いては課題2「デシジョンテーブルで整理しよう」です。課題1で整理した入力条件/出力条件をデシジョンテーブルに整理していきます。

また、作業の流れや、班毎に工夫した点や得られたノウハウも整理対象です。

これらを班で1枚の模造紙にまとめるところがゴールです。問題について考えるだけでなく、限られた時間でどのように最大限の効果を出すのかマネジメントすることもこのグループワークの重要なポイントです。



最後にクロージングとして、このセッションの振り返りを各自で行いました。



個人・グループでうまく出来たこと、うまく出来なくて悔しかったこと、きっとたくさん出たんじゃないでしょうか。是非この経験を「次はこうしよう」「次も続けたい」という想い、そして行動につなげていってくださいね。

(ニ一)

■ディナーセッション



□参加者レポート

◆前置き

昼のセッションで思いっきり頭を使った後は、温泉でリラックスしてからディナーショーの始まりです。これまでのセッションで打ち解けたメンバー同士で盛り上がるのもよし、久しぶりに再会する旧友との交流を深めるのもよし、酒の勢いでこれやってみよ〜と突発的にイベント発生フラグを立てるのもよし。人それぞれのやり方でディナーセッションを楽しんでいきます。



◆オールオイトoppoん

乾杯の合図でしばし食事とお酒に会話を楽しむ中、どこからともなく共同実行委員長の池田氏と山崎氏が壇上に腰掛けトークショーが始まっていました。皆さんの注目が集まった時点で改めてスクリーンに「オールオイトoppoん」の文字が浮び上がり、ディナーセッションの名物イベントの始まりです。



まずは定番の参加者コメント紹介です。参加の意気込みや過去の参加者による成果の報告など様々なコメントが紹介される中、今までは必ず一人はいたWACATEをWA'K'ATEと間違えたコメントは紹介されず、WACATEの知名度の広まりを感じました。その他にはここで読まれることを前提にした超長文のコメントを書いてとぼける常連参加者や、何故か既に終了したBPPセッションを明日頑張りますコメントなど、真面目なコメントから天然ボケまで、味のあるコメントが紹介されていきました。

また参加者も慣れたもので、**自作の応援グッズ!**で両委員長へエールを送りディナーセッション全体を盛り上げていきます。

◆大抽選会

ディナーセッション後半は全員参加の大抽選&ジャンケン大会の始まりです。WACATE 講演者のサイン本や各種グッズにメディアサポーターからの進呈品など、今回も豪華賞品勢揃いで参加者の強運を競い合います。商品の一部を紹介すると、講演者の辰巳さんや大西さん本人のサイン本やJaSSTの予稿集などの豪華景品に加え、さらにハワイ土産のカレンダーも。カレンダーは男性用には水着美女、女性用には海パンイケメンを用意。一部の参加者には大ウケでした。



そしてこのタイミングで司会に**ジャスミン♪**が登場!、一気に場の空気が色めき立ちます。しかも夏のWACATEから一回り大きく成長したジャスミン♪にはこれまでの衣装では小さすぎたらしく、閉まらないファスナーを押さえたポーズが却ってセクシー度アップ!?

◆辰巳さんによるセッション予習

最後の出し物は辰巳さんによる、明日のクロージングセッションだけでは取りきれなかったテストの歴史を飾る数々の**テスト本のカバーコレクション発表!**しかもこのコレクションは過去にも何度か別のイベントで紹介されてきましたが、今まではCover Flow風一枚絵だったのが今回は実際にスクロールするようになりました! 著名な執筆者や海外のデザインセンスが光るカバーイラスト群がなめらかに流れていく様は目の前に歴史という大河が大きな音を立てて流れているようで、WACATEの歴史的な立ち位置まで想像が広がっていきました。

(おたべ)



■分科会

ディナーセッションの後はこれまた恒例の分科会♪今回も4つのテーマがVIPルームでお出迎え~いらっさいませ~♪

□参加者レポート

さあ、一日目最後のセッションのはじまりです。ディナーセッションが終わって、自室に戻ってひと段落~としたいところですが、すぐに夜の分科会の会場に移動ですっ

夜の分科会はこれまでのセッションと違って、予め決められたテーマがあり、参加者は「興味のあるところ」に参加するというスタイルです。

夜の分科会は一室で行われ、和室の部屋、ソファのあるところ、入り口などさまざまな場所である程度人が集まった時点で分科会がスタートします。

モデレータは WACATE 実行委員の方が行います。



1つのところに最後まで参加している必要はなく、他の分科会が気になったら、そちらに移動するなどの途中参加もありで、非常によいスタイルのセッションだなと思います。でも、みなさん、あまり移動はせずに**1つの分科会に最初から最後まで参加**という方が多かった印象です。

さて、私は「用語」の分科会に参加しました。

テストで用いる用語について、現場でどう使われているのかの情報交換かなあ〜、と思いきや、**かなりアツい議論**が展開されました。

テストタイプって何？

テスト分析って何？

単体テストと結合テストの境界は？

レビューはテストに含まれるのか？

他の分科会の内容ってどんな感じだったんでしょうか？

毎回、**全部の分科会に最初から最後まで参加**したいって思います。

(参加者：うえだ)

ここからは各テーマオーナーのレポートでお楽しみください

■「WACATE や JaSST 地域展開」



WACATE は今まで7回とも、関東(上野・あきる野・三浦)での開催でした。

分科会では関東以外の参加者を中心にいろいろなテーマで盛り上がりました。

メンバーは、初参加のFさん、Kさん、Nさん、前回から参加のYさん、新イベントに携わる第3バイオリンさんに、JaSST 東海実行委員の奥村さん。地元が九州・四国といったメンツが集まり、「第3バイオリンさんが関わっている新イベントの目指すものはナニ？」という問いがでました。誰もが業界の発展やエンジニア育成を掲げるものだが、奥村さんが重要に考えるのは「**ゴール**」と「**シナリオ**」と「**楽しさ**」でした。

社内・社外問わず、勉強会やワークショップは、モデレータの情熱と勢いが最初の成功を導く。それは運営側の困難や負荷などがあってもそれを上回るやる気があるから。でも、回を重ねるごとに開催すること・運営することが目的化してきて、困難や負荷がだんだんと苦痛へと変わっていく。この流れで自然消滅していくコミュニティも多いそう。それを打開するために、**最終的に目指す「ゴール」を明確に持つこと、参加者の具体的なプロフィールを考えて「シナリオ」を作ること、そして運営側が「楽しく運営できるマインド」を養うことが重要。**

JaSST 東海の運営のコツを垣間見ることができました。

「奥村節」に耳を傾け、メモをとる第3バイオリンさんの姿が印象的でした。新イベントの開催が楽しみです。

ふと、僕は「WACATE も3年」と考えていました。WACATE というコミュニティはこれからどんな形で残り、**続き、発展し、変化していくのだろうか。**それにしても WACATE の総合司会での奥村さんの口調ではなく、小気味良いあの「奥村節」はいいっすね★

(オーナー：カセッチ)

■「「どんなテストが必要か考えてみよう」ふりかえり」



テーマは、ワークショップ 2「どんなテストが必要か考えてみよう」のふりかえり。ワークの成果である模造紙を見ながら行われました。

模造紙には、3点が書かれています。デザインテーブル、デザインテーブルをつくるまでのアクティビティと流れ、工夫やノウハウ。特に、**デザインテーブルは各班違いがあり、次々質問や議論が**。内部状態を考えることでデザインテーブルを分割した、といった工夫などがやりとりされていました。ワークショップの途中に発表された TBD による仕様変更への対応も、話題になりました。**敢えてデザインテーブルから除いた**という話や、**開発者とテストの視点の違いの話**。不明点のせいでテストできないならそれを伝えようといった意見も交わされていました。

途中、ワークショップの内容から一歩進んだ話題も。例えば、「**デザインテーブルは必要か？**」「**仕様書からどの技法を使うか判定するには**」など。盛り上がった結果、時間不足で一部の班の模造紙は見られなかったほどです。

「議論が足りなかった」「あの班に聞いてみたかった」という方は、WACATE SNS を利用して交流を図ってみてはいかがでしょうか♪

(オーナー：おうみ)

■「三十路セッション (30 になる前に知っておきたかったこと)」



自分、今年 30 歳になりました。三十路を迎えた本年、自分なりに色々なことを考えました。そうした中、**自分で考えるだけでなく、色々な人達の話を集めてみたい**など考えていました。どうせ聞くなら、ヤル気のあるポジティブな人たちの話が聞きたい。そう。それだったら、WACATE に来ているヤル気ムムムの人たちに聞いてみればいいじゃないか。それが三十路セッションです。

三十路セッション。はじめは、まったりとベテランの方々の体験談に聞き入っていました。流れを変えたのは、この一言。「**そもそも、皆さんは何が聞きたくてここに来たのでしょうか？**」。そこで、30 を迎える前の若手の方々に、ここに来た理由を語ってもらいました。

ここからは一致団結。

- ・エンジニアといえども英語が必要？
 - ・何をすればやりたいことが見つかるのか？
 - ・30 代の人は何を考えているか？自分がどうしていけばいいのか？
 - ・そもそもテストの人たちが何を考えているのか？
- など、挙げてもらったことを中心に熱く語り合いました。

どんな答えが出てきたかはここには書きません。是非、皆さんも考えてみてください。

最後に、この分科会の参加者の方もとてもオススメと紹介してくれた、**スティーブ・ジョブズのスタンフォード大学での講演の動画**を見て分科会もおひらきとなりました。30 歳を向かえて、Apple 社をクビになったジョブズが見つけたこと。それは、**やっぱりこの仕事が好きだってこと**だったようです。彼は、本当に好きな仕事を見つけなければならぬと言っていました。

“Keep Looking, Don't settle.”

「探しつづけるんだ。妥協することなく。」

(オーナー：かわにし)

■「用語の解釈について語ろう！」



実はこのテーマは 1 週間前の「てすバナ」(WACATE-Magazine の新企画チャットイベント)で公開していました。そして、当日もチャット参加できる方がいたらいいなと思っていましたが、残念ながら参加者がいなかったため、Twitter で実況する方法に切り替えました。つぶやきに反応してくださった先輩方のコメントも紹介しつつ進めました。

Twitter のやりとりは [WACATE2010 冬の Togetter](http://togetter.com/li/81031) (<http://togetter.com/li/81031>) をご参照ください。

今回議論したのは 3 点。

- ・レビューはテストに含まれるのか？
- ・テスト分析とテスト設計の境界線は？
- ・単体と結合の境目は？

集まったメンバーからして、騒がしくなるのは想定内だったのですが、**やっぱり「うるさい！！」と叱られましたorz**・・・ごめんなさい；でっ、でもすぐアツくてマジメな討論だったんだよ^^；

レビューについては JSTQB で静的テストとして扱っているので、なんとなくテストに含めている(曖昧なままにしている)なあと感じました。「レビューは非公式なものから公式なものまであるが、テストには非公式なものはないのでは？」**「ドキュメントには定義されていないものをテストするのが本当にやりたいテストでは？」**「仕様書のレビューを

「静的テスト」と呼ぶ人もいて「なら仕様書を動的にテストしてみよ」といいたくなる違和感を感じています。」**レビューには期待結果が無い**。だから、探索的テストは動的レビューかもしれません。」**テストでできないものがある(見つけられないバグがある) レビューではそれができるところもある!**」などなど・・・様々な意見が出ました。議論できてとても面白かったです。

(オーナー：ばんばん)

こうして WACATE 2010 冬の夜は更けていくのでした…。

■■■12/16(日) WACATE 2010 冬2日目■■■

息をつく間もなく、朝がやってきます。眠い目をこすりながら、今日もつづくよ勉強は!

■モーニングセッション

「テストと海外とワタシ」

講師：大西 建児 氏



□実行委員レポート

タイトルの通り、テストや海外、特に英語にまつわるお話でした。ご自身の体験談も随所で紹介して下さいました。

特に印象に残っているのは、**学び方**。技術知識について知り合いに教を請い、資料をもらったり。英語で担当システムの説明ができなかったことがトラウマになり、転職後に英語が必要となった機会に猛勉強したり。テストの書籍を読んだものの自分ひとりで勉強するだけではダメと考えて TEF に入り、書籍の翻訳に参加したり。その時々に必要なものを見極めて、前向きに動かれていた様子が伝わってきました。**「自分が分からないことを知ることは、エンジニアにとって大事なこと」と**いったお話もありましたが、分からないことを知った後の行動についてヒントを得た人も多かったのではないのでしょうか。

テストエンジニアに必要なものとして、コミュニケーションを挙げられていました。英語はあくまで道具、まずは日本語や日本文化の理解が大切だそうです。

「外国人からすれば、僕達もみんな外国人。自分たちが外国人からカタコトの日本語で話されたら、一生懸命聞こうとするでしょう? **まずはコミュニケーションです**」とい

うお話、確かにそうだ!と深く頷いてしまいました。

その他にも、沢山の話題が。日本にテストのシンポジウムをと始めた JSTQB 立ち上げ当初のエピソード、JSTQB は意識あわせに使うって欲しいといった思いや、最近のトレンドとしてファズテストや機能安全のためのテストを挙げられた話、以前執筆された Software Testing ManiaX の記事の紹介、などなど。盛りだくさんで、あっという間の1時間でした(^-^)

(おうみ)

■ワークショップ3

「技法の必要性を考えてみる」

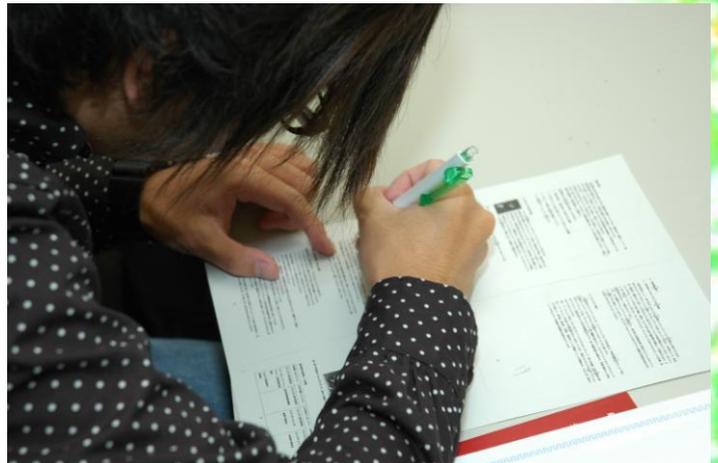
講師：河野 哲也



□一緒に参加する羽目になったw実行委員レポート

SQIP ワークショップの講師でもある河野さんのセッション開始!

事前の予習はなく、参加者も実行委員もどんな演習なのかわからない。参加者9班とともに、**なんと加瀬・奥村の実行委員コンビも演習に参加することになりました!**



世の中にある「技法」がいかに必要かを知るために、まず参加者は文章の書かれた A4 の紙の中からひらがなの「の」を数える作業を行います。各班で数えた結果を整理してみると、ばらつきがあったり正解とかけ離れた結果ばかり。そこで各班で「の」を数える作業をいろいろと工夫してみることに。実行委員コンビを含むそれぞれの班でメンバーの考えた工夫をまとめて、名前を付けて「技法化」します。

ちなみに実行委員コンビは名付けて「倒読法」。

さあ、2回目の作業に取り掛かる！でも、同じ文章というわけではなく河野さんから別の文章を手渡されて、少しがっくり^^；

さあ、結果を集計してみると、
なんとまあ、結果はかわらずバラツキも減らず、正解にも程遠い。。。ここで河野さんからひとつの提案。

「今まで2回とも個人で数を数えることで改善を試みましたが、結果は出ませんでしたね。
では次はグループで力を合わせて、数えてみましょう。」



テストも個人ではなくチームで問題解決をします。今回の課題も班ごとで力を合わせることで正解に近づけます！2回目で決めた「数え上げ」技法をさらにグループで適用できるように工夫をして、ワークシートへ記入します。

しかし、3回目は文章ではなく、**路線図**。。。イヂワル問題。。。少しの時間をもらって、技法を微調整してさあ3回目の数え上げ作業開始！



さあ、結果はというと、今までばらつきのあった数え上げ結果が、狭い範囲におさまってきました。個々の工夫がルール化され、さらにグループ作業用にチューンアップされたことで、**結果に表れる技法に変わってきた**のです。

そして最後は、各班の技法が他の班でも効果が出るのかを確認する演習。ランダムに配られた「数え上げ」技法を使って、英文の中から「v」の文字を数えます。テスト技法も、誰もが使えていつでも均質な成果が得られないと、テスト技法とは言えません。さあ、みんなで考えた「数え上げ」技法が技法たるのか。

じゃじゃーん+

結果として、半分以上の班が正解を導き出すことができ、数え間違えが起きた班も1個だけという精度。1回目の集計とは比較にならない結果にびっくり！！参加者は、今回の数え上げという作業からテーマにある「**技法の必要性**」をまさに目と手と体で実感することができたようです。

それにしても、参加者も実行委員も疲れました^^；
(カセッチ)

■Test. SSF セッション

「温己知進-自分を知って進もう-

Test. SSF セッション」

講師：小山 竜治



□実行委員レポート

「皆さんの前で、初めてまともな事をする、コヤマンです」初日から様々な噂が流れていた、コヤマンこと小山さんのTest. SSF セッションのはじまりです。Test. SSF とは、JaSST'10 Tokyo で発表された**ソフトウェアテストに関するスキル標準**のことです。このスキル標準どうやって使うの？そこで、このスキル標準をつかってみようというのがこのセッションの目的です。

概要の説明が終わると、いよいよ各人のワーク開始です。まずは、配られたスキルシートをもとに全員がスキルのスコアを記入。Excel のシートに入力すると、自分のスキルがレーダーチャートとして表示されます。

ただ書いただけで終わらないのが WACATE のワーク。気づいた点を3つ挙げる。自分がすべき訓練の目標とその理由など、**記入したスキルから自分の成長がしていくための戦略を練っていきます。**

「いよいよ、皆さん大好きな語りタイム」
「準備 OK?いきますよー。それでは発表、よーいスタート。」

最後は、班のみんなで発表。年齢が若い順に、発表3分、フィードバック4分を繰り返すことで、考えを深めていきます。前向きに、これが話し合いのポイント。こうやって、問題解決のためにこれを知るといふ Test. SSF の使い方をみんなで学習したのでした。

(かわにし)

□参加者レポート

SSFとは Skill Standard Framework の略です。
このセッションでは、テストに関するスキルが自分にはどの程度あるのかについて認識するセッションです。

3~40程度の質問に対して、自分自身で「出来ない」「助言があれば出来る」「一人で出来る」など1~4点で自己評価をしていきます。

エクセルを使って、その点数を集計し、レーダーチャートに起こすと、**どこが得意でどこが不得意か**が出力されます。

質問内容の中には、こんな用語知らない、などがあり、実は現場でやっているのに、自己評価として「出来ない」としてしまったりと、いくつか**点数を付けるのに迷う部分**がありましたが、結果として出力されたレーダーチャートを見ると、面白いもので、**概ね自分が現在やっている内容通りのチャート**になりました。

SSF を使って、「こういうところが得意なのかあ」「こういうところが不得意なのかあ」、というだけでは個人ワークで終わっちゃいます。

そこは WACATE、この後に**グループワーク**が行われます。



グループワークではレーダーチャートの結果を踏まえて、今後どうしていったらよいかについて、助言をしようというものです。

それぞれの班で、自分のレーダーチャートをメンバーに伝えて、その内容から「こうしたほうがいいのでは？」などの話し合いがされました。

二日間、いっしょにワークショップをしてきたメンバーだから出来る助言なのかなと思います。

何か分かっている、何が分かっているのかについて、**客観的な評価基準や尺度を用いる**のは大事だと思います。
(うえだ)

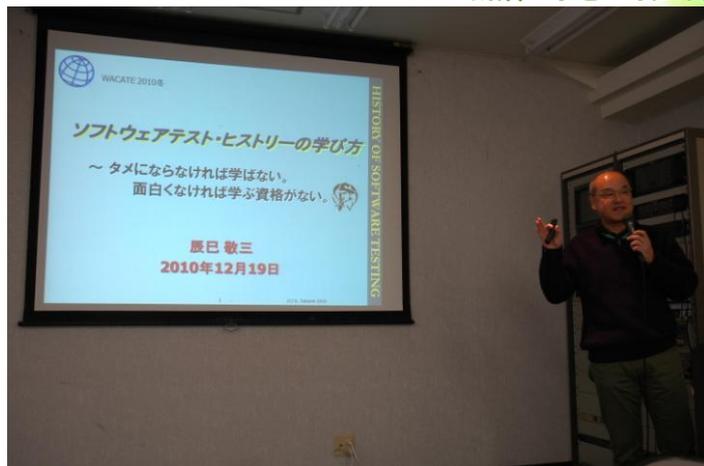
■クロージングセッション

「ソフトウェアテスト・歴史の学び方

～ タメにならなければ学ばない。

面白くなければ学ぶ資格がない。～」

講演：辰巳 敬三氏



□参加者レポート

WACATE2010 冬、最後のセッションです。
ソフトウェアテストの歴史についての講演になります。

【テストの歴史】

70年代はライフサイクルモデル、80年代はソフトウェア自体の価格、生産性、90年代は社会との依存度とソフトウェアは時代に即して、その用途や形を変化させて次第に大きくなっていきます。

社会の中でのソフトウェアの**位置づけや目的や背景が絡みつつ、ソフトウェアテストの考え方が**変わっていきます。

1) デバッグ指向の時代(～1956年)

デバッグとテストが区別されていない

2) 論証指向の時代(1957年～1978年)

テストはプログラムが仕様を満足していることを示す

3) 破壊指向の時代(1979年～1982年)

テストはエラーを見つけるつもりでプログラムを実行する過程

4) 評価指向の時代(1983年～1987年)

テストはソフトウェアのライフサイクルを通じた評価活動

5) 予防指向の時代(1988年～)

テストはソフトウェアライフサイクルと並行して進められる予防指向のテストプロセス

いままで、私はテストとは「**正しく動作していることを確認する**」という捕らえ方をしていたのですが、ソフトウェアテストの歴史を見てみると、ある時代では「テストの成功はエラーを見つけること」であったり、「テストとは正しく動作しないことを確認する」であったり、また開発におけるテストの位置づけについても「デバッグと同等」であったり、「設計とコーディングの全てのプロセスで計画さ

れなければならない」など、**考え方が違う**ことに気づきました。

テストに用いられるデシジョンテーブルや原因結果グラフ、直交表などの技法や制御フローテストやカバレッジテストなどの種類などは

- ・ソフトウェアテストをどう行うか
- ・そのためにどのような方法を用いるか

という中から出てきたもので、**ツールや技法ありきではない**ことがわかります。

【世界のテスト技術の研究最前線】

現在のテスト技術の研究における最前線はどのようになっているのでしょうか？

1)6つの側面

WHY, HOW, HOW MUCH, WHAT, WHERE, WHEN の6つの側面よりテストを捕らえる。

2)テストベースドモデリング

効果的にテスト出来るモデル、テストしやすいようなモデルを作る。

3)100%テスト自動化

テストの実行に関する自動化だけでなく、テストデータの生成やテスト環境構築などテストプロセスを自動化する

4)アンチモデルベースドテスト

仕様書がないものに対してテストを実施する。

5)メタヒューリスティック

動いているシステムの中からテストデータを収集する。

【温故知新】

「今回学んだことは、待ち帰って現場で活かしてほしい、そして**「何を知っているのか、何を知らないのか」**それを知ることを。

それが分からないと、何を目標にしているのか分からなくなる。」

過去にどのようなことが行われてきたのか、そしてこれからどのように行うべきか、何が必要で、どのようなことをしたいのかなど、

「ソフトウェアテスト」という枠に収まっているだけでは見えてこない部分は多々あると感じました。

【WACATE が刻まれる】

A3用紙サイズのソフトウェアテストの年表をいただきました。

実はソフトウェアテスト・ヒストリーの年表に、「WACATE」が載っています！（みなさん気づきました？）

WACATE を歴史に刻んでいきましょう！！

（うえだ）

■クロージング

司会：小山 竜治

□実行委員レポート

…長かったような短かったような二日間が終わりに近づき、とうとう WACATE 2010 冬の終了時刻が近付いてまいりました。

程よい疲れと、心地よい熱気。そして、言い様の無い寂しさが混ざった空気の中、共同実行委員長のスター☆やまさきからの挨拶がありました。

今日のことをアウトプットしてください。アウトプットすることで、皆さんの力になる、という最後まで参加者のことを思いやるコメントでした。

そして、参加者の皆さんお待ちかね！のポジペ3賞の発表がありました。

OBFP(Biased Favorite Paper)賞

クロージング講師辰巳さんが選ぶ BFP 賞はなんと初参加者の女性の方が受賞！

辰巳さんから「最初から女性と決めてました。」とカミングアウトがありました…w

彼女の前向きな姿勢に一票！ということで受賞が確定いたしました。

OMAP(Most Accelerating Paper)賞

実行委員が選ぶ MAP 賞は常連さんかつ今月の WACATE-Magazine の”ワカテにキク”執筆者の方が受賞！

最も加速していると感じられる内容でした。

OBPP(Best Position Paper)賞

そして WACATE 2010 冬参加者が投票をして決める BPP 賞は、初参加者の水のさんが受賞！



本当におめでとうございます！

笑顔もスピーチも素敵でした。

水のさんのコラムは後のページに掲載していますのでお楽しみに！

そして、最後に二日間実行委員の方で撮影した写真を見ながら、皆さんで二日間を簡単に振り返りました。

※ちょっと段取りが悪かったのはご愛嬌w

写真を見る皆さんの顔は懐かしいような、恥ずかしいような。それでいて笑顔でした。

WACATE で撮影した写真を見ると、たくさんの真面目な顔と、たくさんの笑顔がいつもたくさん写っています。

そして、戦士たちの二日間は、熱い想いととも終焉を迎えました。

たくさんのお顔を有難うございました！

■最後は恒例の！



See you next "WACATE"!

書いた人：WACATE 2010 冬 実行委員会

WACATE 2010 冬 BPPセッションレポート

◆はじめに

こんにちは、おたべです。前回の WACATE 2010 夏に BPP (Best Position Paper) 賞を受賞し、冬の WACATE ではセッションを一つ受け持つことになりました。今まで一参加者であった自分が今度は名だたる講演者と同じステージで発表者へとその立場を変える、その変化に正直かなりプレッシャーを感じたのですが、無事やり終えた今は非常に得るものが多いセッションであったと断言できます。

では BPP セッション発表に向けた半年間の取り組みをレポートしていきたいと思います。

◆BPP 受賞から構想まで

夏の WACATE で BPP 賞を受賞し、次回のセッションを何にするかまず考えてみました。なにせ前回の BPP セッション発表者がアジャイルインスペクションやリスクベースドテストで有名な永田さん、セッションの内容も当然素晴らしく、今回バトンを渡された側としては初めからハードル高めの状態でした。

最初に発表時期は冬なので、趣味の一つであるスキーを題材に発表するところまではすんなり決まりました。スキーは滑るだけなら体力に関係なく楽しく滑れるスポーツで、また教育理論がしっかりしているので下は4歳から上は60代過ぎまで誰でも適切な指導を受ければうまくなれるスポーツです。その特長と WACATE のキーワードの一つである「加速」を繋げればセッションに出来るかな〜と当初は気軽に考えていました。

は名前のごとく、少し膝を曲げて片足立ちした状態で体を軽く数回捻るだけの運動ですが、意外と立ってられない人が多いのです（セッション中では約3分の1の人達がバランスを崩していました）。

私も最初は満足に立っていただけでありませんでしたが、この運動の利点は立っている限り何処でも何時でも何度でも出来るので、飽きずに繰り返していたら1ヶ月もすると片足立ちした状態で普通に靴下がはけるようになりました。今は歩行時も地面に対して釘をトンカチで打ち抜くがごとくブレずに真っ直ぐ体重をかけられるようになり、たんだか歩いているだけで楽しくなってきました。効果は実証済みですので是非試してみてください。

次に建てた目標は飽きさせないこと。どんなに素晴らしい発表内容でも聞いてもらえなければ意味がないので、予稿集に載せる資料と発表用資料の2種類を用意し、発表用はアイスブレイク、綺麗な写真、質問、体感を発表に織り交ぜて参加者とのコミュニケーションが一方的にならないよう注意しました。また説明が難解だと迷って思考が集中出来なくなるので、個々の話題が矛盾無くつながるように推敲を重ねました。

◆中間目標の設定

次に発表本番までの半年間に出来ることは何か、どこかで発表練習出来ないかとアンテナを広げてみました。すると今年から参加している QuaSTom にプレゼン分科会とコーチング分科会が存在していることと、JaSST 北海道でライトニングトークスの参加者を募集していることが分かりました。



◆発表する際の目標

WACATE 参加者には貴重な時間を割いてセッションを受けてもらう以上、必ず何かをセッションから持ち帰られるようにすることが絶対条件です。

その為にはすぐに使えるお土産を用意すること。その一つとしてスキーのバランスを鍛える練習として使っている片足立ちひねりを紹介することにしました。片足立ちひねり



そこで実戦を経験しようということで JaSST 北海道では「目標設定」をキーワードに発表することにし、事前に QuaSTom の両部会でプレゼン練習やコメントを頂く機会を設定していただき、最終的には一人で作るよりも遙かに良い出来のプレゼン資料を作って発表することが出来ました。

◆発表ネタは常時収集

勤続10年記念のリフレッシュ休暇でハワイに行った際も、ネタ探しは頭の片隅に入れて行動していました。現地では**スカイダイビング**や**サーフィン**その他を人生初体験してきましたが、そこで想像を遙かに超える重力加速と、サーフボードとスキー板に乗るコツは一緒なんだなぁと共通性を発見することが出来たときは、このネタを使えばBPPプレゼンは凄いことになるぜいとニヤニヤしていました。



◆こじつけ

発表ネタが揃った後は、「WACATE」「加速」「スキー」この三つのキーワードを違和感なく発表資料に仕立て上げるため、実体験や比喻に共通性と強引さもミックスしていき、あーでもないこーでもないセッションのシナリオを作っていきます。アイスブレイクに何をを使うか、息抜きのタイミングを何処にするか、質問に対して参加者はどう反応するだろうか、考えるべきことは色々ありますが資料を作っていて一番楽しい瞬間でもあります。

シナリオが大体できたらPC上での作業に移ると思いますが、私の場合はその前に「ジオラマ作り」が入ります。分かりやすい資料を作るためには文字の多いプレゼン資料は避けたいところです。結果として極カイメージで伝えようと写真をよく使いますが、それでも足りなければ人形を使ってジオラマ作成です。



粘土でスキー道具を作り、和紙を丸めてマフラー代わりにし、Amazonの空き箱を利用してスキーのゲレンデを作成していきます。人形にスキーをしているポーズをつけようと

して関節の少なさや頭でっかちでちゃんと立たせるのに苦労したりと、およそ他の人と比べて資料の作り方が異なるのですが、オリジナリティは私にとって非常に重要な要素ですので、妥協はしません。**人形には演技指導までして**ジオラマを作成していきます。

◆発表練習

発表本番はでは練習したものを出すだけですが、逆に言う**と練習していないものは出せません**。目の前に観客がいるつもりでリアクションを想像しながら発表練習していきます。発表時間も厳守しなければなりません。資料に多少の冗長性を加えて時間調整できるように工夫したり、最初に最も重要なトピックを説明するように発表原稿に推敲を重ねていきます。

◆発表本番

やれるだけのことをやったら腹を決めて本番に臨みます。幸い**アイスブレイク**として冒頭に入れたスカイダイビング写真のウケが予想以上に良く、それで私自身の緊張も解けていきました。それ以降のプレゼンでも観客の反応を確認するだけの余裕を持って、今までで一番手応えを感じたプレゼンとなりました。今考えてみるとアイスブレイクは聴く側だけでなく**話す側の緊張を解く効果もある**ことを実感できて、とても良い経験をする事が出来ました。

◆発表内容の評価

発表内容の評価はあくまで聴く側がするものなので、発表後の私自身はこれで皆さんの期待に応えることが出来たか正直不安でしたが、セッション終了後に何人かの方から**「発表面白かったよ！」**と感想を頂くことが出来てやっと肩の荷が下りた気分になりました。

◆最後に

BPPセッションは特典の一つに「WACATE参加費が無料」があります。当初はタダでWACATEに参加できるなら発表してもいいかな？ぐらいに考えていた節もあったのですが、終わってみると金銭的な負担軽減よりも精神的、能力的な負担増加の方が圧倒的に高いことが分かりました。

しかし普段ではあり得ない、自分の知識、資産、能力を最大限発揮して発表資料を作りプレゼンする機会を得られ、また参加者から生のフィードバックを得られたことは私にとって**かけがえのない経験**となりました。

是非WACATEファンの皆様には、WACATEに関わらずこうした発表の機会を持って自分自身をガンガン加速させて貰いたいと強く願います。

書いた人：おたべ

WACATE参加とポジションペーパーができるまで



あ……ありのまま今起こった事を話すぜ!

「WACATE」というイベントに初参加したと思ったら WACATE magazine に投稿することになっていた。さらに次回にセッションを受持つことにもなっていた。な…何を言っているのかわからねーと思うが、俺も何をされたのかわからなかった…。もっと恐ろしい WACATE コミュニティの片鱗を味わったぜ…。

今回、感じたのはまさに↑みたいなものでした。

カレーの人こと「水の」と申します。

初参加でベストポジションペーパー賞のような評価を頂いて恐縮しております。選出頂きありがとうございます!

前回のあたべさんは、WACATE のためになる検討内容でしたが、僕の内容は自分のみに目を向けていたものです。

これで賞を貰った場合、こちらが受け取るばかりになってしまいます。

これは、なんらかの形で感謝の気持ちを返さなければ!と 思っておりましたので、「投稿しなければならぬ権利」はち ょうど良い機会の獲得、となった次第です。

今回は、初参加からポジションペーパーが出来るまで、を記事としてまとめてみました。

今後、WACATEに参加する人に向けて多少なりとも役に立つ内容になれば良いなと思います。

それでは、初参加からポジションペーパーができるまで、 はじまり~!

1. 参加してみよう!

こんな流れです。

会社@伊丹で同じ7フロア在住のH谷さんがお昼にふらっと やって来ます。(いつものことです)

H谷さん「WACATEっていうイベントがあって、参加してみようと思うのですよ。」

水「へー、どんな感じですかね。」※HP でチェック。

H谷さん「参加してみませんか?面白そうですよ。」

水「面白そうですね~、参加してみましようか。」

…次の日…

H谷さん「申し込み終わりました」

水「申し込んだじゃいました」

…いつもこんな//です。

2. 申し込んでみよう!

Webより申し込み内容を確認すると、謎の「ポジションペーパー」とやらの提出が必要とのことでした。

しかも期限は1週間。そんなの知らなかったな~、とか思っていたところでしたが、「賞」があたりすることを発見。

折角なので、真面目にやってみよう!と決めて

「**今までの開発で問題と思ったこと**」

「**WACATE で何を勉強したいか(自分が必要と思うこと)**」の 2 点を本気で考えてみることにしました。

題して「**試験についてまじめに考える!**」。

僕は開発担当で、テスト専門家ではありませんでしたので、「学びたいこと」を自分の中で持たないと、セッションや議論にはついていけない、と思ったことも理由の一つです。

3. 考えてみよう!

いつも使っている「考え方」を簡単に紹介しておきます。

まずは、いつも使用しているマインドマップツール「XMind」と適当なテキストエディタを用意します。

別途紙のメモなんかでも使う時もあります。僕がよくやっている方法は以下の感じです。

- ・テーマに対して、頭に浮かんだことを書きつくします。ひたすら項目をPickUpしてマインドマップなりに書きます。ここでは重複があっても良いです。最初は、重複よりも漏れをなくすことを優先。その後、消せばよいのです。

- ・テーマに対して色々な「切り口」を用います。切り口が沢山あると、アイデアが沢山出てきます。今回は、「受け持ったプロジェクト毎での考察」、「過去に経験した不具合に対する考察」、「作業段階別の問題点」、「技術カテゴリでの検討」…あたりです。

アイデア出しの間に、切り口が増えることもあります。

- ・常に頭のメモリに「考える」部分を確保しておきます。仕事している時でも、料理している時でも、ふと思いつく時があるので、それをちゃんとメモしておいて追記します。

・思考停止状態をできる限り回避します。

一つの考えがグルグル回って思考が止まっている状況は回避した方が良いでしょう。鮮烈な思い出(怒りとか?)に囚われると、思考が止まる時もあります。

自分の状態を考えながら、「アイディア出しが止まっていな
いか？」をたまにはポーリングします。

また、アイディア創出停止時は、前述した「切り口」を変更して考えてみると、別のアイディアが出たります。



…で、搾り出して PickUp した項目が
ポジションペーパー記載の
「読めない」という内容でした。

←こんな感じ。それでも、多少整理
しています。

実際には、WACATEの前にもう一度考え直していましたので、上記マインドマップは提出時のさらに1.5~2倍くらいに膨れ上がっていました。

4. まとめてみよう！

難しいのは「まとめる」ことです。僕は以下の3つの理由で、この時点で思考停止してしまうことも多いです。

- A) 「他にもあるかも」と思いしまい、前述の考える作業の「終わり」を見つけづらいこと。
- B) 出し尽くしたタイミングで気が尽きてしまい、まとめる気が出ないこと。
- C) 膨大すぎる項目と整理する方法が見つからないため、立ち尽くしてしまうこと。

今回は期限が明確であったこととアウトプット必須！のため、「他にもあるかも」と思っても、提出日には強引に検討を打ち切って次の作業を行わざるを得ない状況でした。

「締切効果」の重要性に改めて気付かされました。まとめ方は色々ありますが、今回はふりかえりでベーシックな手法であるKPT法を使いました。

Keep(良かった点)、Problem(悪かった点)、Try(次にやること)の切り口で考察事項を PickUp します。

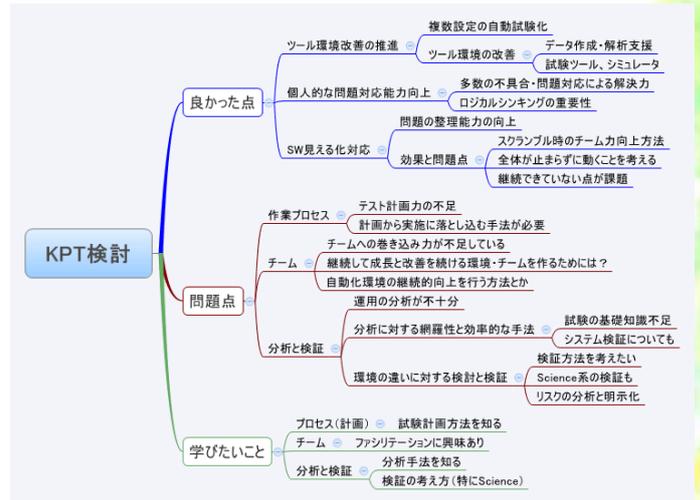
今回は、

K⇒良かった点、P⇒問題点と課題、T⇒学びたいこと、としております。

アイディア出し段階では、沢山ネタを出すことをメインにしていたので当然ダブりがあります。

今回は、ダブりが沢山あるものが最も必要としていることだ！と逆の発想をして、まとめてみました。

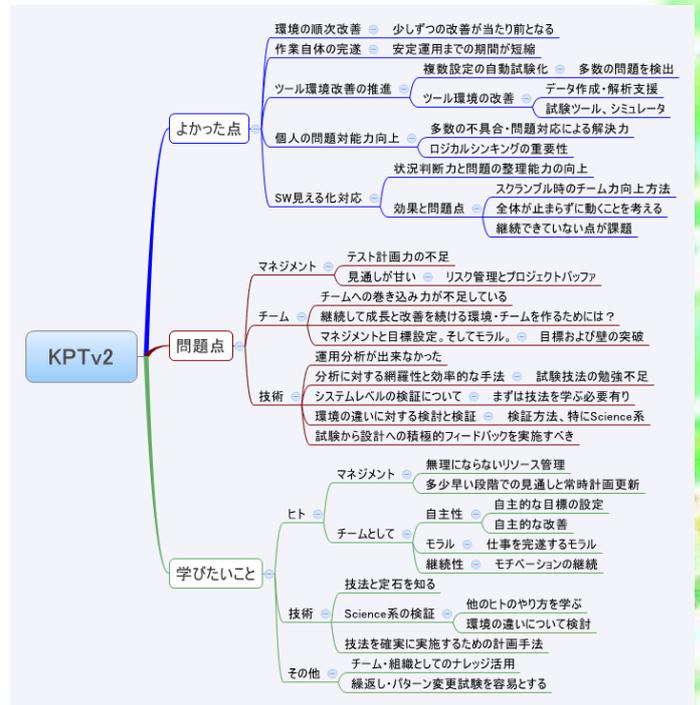
出来上がりが、以下のKPTロジックツリーとなります。



これで必要なコンテンツが完成！

今回のWACATEセッションと適合する「効率的な手法(技法)を知る」という課題も出ていました。この時点で締切の1週間は超過していたかもしれません…。

なお、WACATE直前にもう一度検討を実施して、ver2 を構築しています。いくつか課題本を読んでいるため、少しだけ洗練された内容へと変化しております。



最終的には、「ヒト」にかかわる部分と「技術」にかかわる部分を意識した構成になっておりました。

ver2 の段階では、WACATE2010 冬で学んだ「技法」が必要！とはっきり認識できる状況となっていました。課題本を読んでいくに従って、「これで解決出来そう！」と思われるケースがいくつも確認出来ていたためです。逆に今まで知らなかったことについて残念と思い、テスト技法の重要性を深く感じる事ができました。

5. つくってみよう！

ここまでコンテンツが出来上がれば、最後のポジペの形にするのみとなります。この最終的な資料は、やはり見やすい形式になっているほうが相手には伝わりやすいです。これは、別途僕が運営を手伝っております「ETロボコン*1」で、いつも感じているコトです。

XMind の表示形式では、マインドマップだけではなく、「ロジックツリー型」の表示が出来るため、K/P/T のそれぞれに、ロジックツリー構成を貼り付ける形式としてみました。なんか、ロジカルシンキングっぽくてカッコいい。という感じで、そのままロジックツリーを画像として貼り付けた形が最終ポジペとなりました。見た目が良くなる気がするだけでも無く、文章だけよりも読みやすいような気がしますし、ね。

そんなこんなで「はじめてのポジションペーパー」は出来上がったのでした。

6. WACATEに行ってみよう！

初参加しましたWACATEでの時系列コメントです。

1. いきなりのアフロと猫耳の衝撃、何ですかココは？
2. ポジペ紹介での語りがみんなアツい！
3. トロとクロから加速の重要性を知る
4. 技法はやっぱり重要、知らない技法が多かった
5. テシジョンテーブルは難しいけど効果的
6. この忘年会ティナーはッ！？
7. 温度も上がるアツいテシジョンテーブル分科会
8. 海外で活躍もしてみたくなった

9. 人の行動精度と技法とチームと
10. カレーの香りに誘われて
11. テストスキルと自分の力が分かる
12. 歴史は語る、温故知新
13. びっくいBPP賞
14. アツい語りで後夜祭

今回、実際にWACATEに参加した感想は、

「楽しい、勉強になる、モチベーション上がる！」でした。

なかなか経験し難いイベントで、参加して良かった！と心から思います。

真剣に学びたいと考える人が集まって議論することの楽しさ、という感激がありました。

今回WACATEで出会い、Twitter上でフォローさせて頂いたアツい人たちの活躍を感じることで、自分が課題としていた「モチベーションの継続」が出来るという、非常に得がたいものも得ることが出来ております。

WACATE、ありがとう！

7. さいごに！

今回の検討方法が、多少なりとも参考となるものであれば幸いです。

次回のBPPセッションについても全力で対応させていただきます。よろしくお祈りします！

※1 ETロボコン(ETソフトウェアデザインロボットコンテスト)について

同一のH/Wに対して、参加者がソフト側を自由にとって競技するロボコン大会。競技結果のみではなく設計図(UMLを中心とした設計モデル)も併せて審査・順位評価する、変わった競技会となります。

設計図(モデル)で高評価されるためには、技術的な内容が優れているのみではなく、見易さなどを含めて相手に「伝わる」資料であることも重要なのです。

もうひとつのWACATE 2010 冬 伝説のソフトウェアテスト同人誌 Software Testing ManiaX -vol.4-

◆やってきました！

さる 12/31(金)の大晦日、東京は有明。
コミックマーケット 79@東京ビッグサイトに
て、**Software Testing ManiaX** を頒布して参り
ました！！！！

今回は枝に実がついた表紙に、紺の帯がついて
いる状態にて頒布させていただきました！



できたての本を見るのはやっぱりなんという
か、感慨深いものがあります。
これがモノづくりの醍醐味…！

◆おかげさまで大盛況！！！！

大晦日にも関わらず、今までにない頒布数をマ
ークいたしました！vol.4 だけでも在庫を投
入しての約 150 冊、他の号数を合わせると合計
で 250 冊程度の頒布数でした！
これもご愛顧くださる皆様と、積極的に宣伝を
してくださる執筆陣の皆様ののおかげです。
本当にいつも有難うございます！

今回は今まで絶版だった vol.1 も増刷となり、
最新刊の vol.4 まで全巻揃っての参加となり
ました。中には「1~4 全部！」と言ってくだ
さるマニアな方もいらっしゃいまして、大変嬉
しい限りでした！

◆公式サイトができたよ！

実は今回の vol.4 の作成中にいいんちょがお
ふいしゃるさいとを作ってくれました。

☆さーくる WACATE おふいしゃるさいと☆
<http://circle-official.wacate.jp/>

vol.1~vol.4 の目次が掲載されていますので
入手をご検討の方は、目次から内容を想像して、
欲しい ManiaX をチョイスしてもいいかも！？

◆通販や電子書籍について

twitter 等で要望が多く上がっておりますが、
WACATE 同様、有志が手弁当で作っているもの
ですので、対応の目処は残念ながら立っており
ません。
お急ぎの方はお手数ですが、会場までお越し
くださいませ！

◆ゲットできた方は感想プリーズ！

Vol.1 こそ増刷に増刷を重ねて結構な部数を
世の中に届けておりますが、まだまだ数百部。
つまり、マニアックな方数百人が手にするのみ
です。
ゲットできた皆様、是非ご感想をアウトプット
してください。
執筆者のエキスパートの方々も、読者の皆様の
感想を心からお待ちしております！

書いた人：Magazine 編集部

JaSST '11 Tokyo 1/25~26

Coming soon

★ もう少しで開催

ソフトウェアテストシンポジウム東京 JaSST' 11 Tokyo 今年度も1月25日~26日に東京の目黒雅叙園で開催されます。

★ プログラムの見どころ

今回はゲストに「ソフトウェアのテスト技法」を執筆されたリー・コーブランド氏を招聘し、テストのトレンドを基調講演で、テスト技法の探索的テストをチュートリアル1でお話いただきます。

探索的テストって、あまり日本ではききませんので、是非聞いてみたいですね。



Lee Copeland 氏



チュートリアル2(2日目)では、NECの菅田直美氏がソフトウェア品質会計をお話されます。今回は、特に菅田直美氏が普段語られることの少ない、下流工程の品質会計について、事例も入れてお話いただけるそうです。

招待講演では NEC 東芝スペースシステムの檜原氏に、はやぶさのお話をお願いしています。高信頼な、ちょっと特殊な環境のソフトウェアにご興味のある方はいかがでしょう。

実は、昨年のはやぶさの帰還時は、天文少年だった僕には、困難を乗り越えて戻ってきてくれたこと。それを支えた人々や思いに胸が熱くなりました。

他にも、事例発表や論文発表、CEDECさんとのコラボ、LT、TDD、ツール、JSTQB-ALと沢山の企画セッションが目白押しで盛りだくさん。

最後に、クロージングパネル

- ・ Lee Copeland (Software Quality Engineering)
- ・ 細谷 泰夫 (三菱電機)
- ・ 湯本 剛 (日本ヒューレット・パッカー)

のお三方と、電気通信大学でソフトウェアテストを研究されている西先生がモデレートされるパネルです。そしてそのタイトルは！

「これからの「テスト」の話をしよう」
～ソフトウェアテスト白熱教室 in JaSST 東京～

なに！！どんな、問題がなげかけられるのかあ！ ぜひ、その場で感じてみたいですね。

あれもこれも見たい、聞きたい、感じたい、そして持って帰りたい。

そんな、みなさんのために「振り返りセッション」なるものもあるようです。

★ JaSST' 11 Tokyo 開催要項

詳細は下記 Web サイトをご覧ください
<http://jasst.jp/archives/jasst11e.html>

日程：2011年1月25日(火)~26日(水)
場所：目黒雅叙園 (東京・目黒)

参加費：

- 1日券 5,250円 (税込)
- 2日券 8,400円 (税込)
- (チュートリアルを受講される場合)
- 1日券+チュートリアル1受講券 21,000円 (税込)
- 1日券+チュートリアル2受講券 15,750円 (税込)
- 2日券+チュートリアル1受講券 24,150円 (税込)
- 2日券+チュートリアル2受講券 18,900円 (税込)
- 2日券+チュートリアル2回(1/2)受講券 34,650円 (税込)
- 情報交換会 5,250円 (税込)
- 会場での弁当購入 各日1,050円 (税込)

P.S. 雅叙園の1Fのトイレは必見 (*^-^*)

すでに、好評で残り少なくなっているチケットもありますので、お早めに申し込みください。

WACATE 2010冬 後夜祭

冬だけど熱かった二日間の打ち上げ！

やっぱり他の班の様子とか知りたいし、まだまだ話したいことがあるぞ～、という方々が集まって今回も後夜祭を行いました。

今回は、WACATE 本編参加者の約半数にあたる21名(幹事一ズ含む)の方にご参加いただき、盛大に開催されました！

その様子をレポートいたします。

★ 集合からのチームワーク

全員での集合写真撮影後、ホテルの駐車場に集合し、全員で会場のある横浜まで移動です！（もうみんな慣れたもので、すぐに集合してくれました。みんなサンクス♪）

幹事としては、迷子がでないかドキドキでしたがワイワイしながら歩き&マナーを守って電車で移動しました。

★ いざ、会場へ～

WACATE の盛り上がりそのまま、ハワイアンのお店に。横浜駅から少しだけ歩きますが集団行動で無事お店に到着。



～ハワイアンな感じの飲み物の図～

なんか 12 月とは思えない店内の雰囲気。今のテンションそのものですよ～。

会場に到着後、いつものように **くじでの席決め** をまたせていただきました！（進歩なくってすみません m() m)

本会で同じチームじゃなかった人や、ベテランさんと初めての人が隣になったり、幹事～ず も散らばりまして、いい感じの席になりました！よかった！よかった！

★ カンパ～イ

おビールなどの飲み物が来る前から、もうすでにテスト話で盛り上がる会場。いやー、幹事は楽チンですよ。(みんなサンクス♪)

ベタな乾杯の挨拶で、後夜祭スタートです！



～みんな笑顔でカンパ～イの図～

関東と関西の人で、今回の WACATE 内で出た話から、今後やりたいことについて議論していたり、今回のワークショップで考えさせられたこととか、聞こえる話はテスト話ばかり・・・ テスト大好き人間の集まりはすごいパワーです！地域とか距離とか関係なしですね。



～関東と関西で新しいテストの話進行中の図(にやり)～

後夜祭の楽しい様子は、写真から読み取っていただけか。

突然のゲストが来てくれたり、もう途中から幹事も本気で楽しみモードです。(急なお願いを聞いてくれた店員さんサクス♪)



～スペシャルゲストさんのハワイアンなコーラの図～

★ 踊るのだ～

「アイヤー」みたいな掛け声が聞こえたと思ったら、なんかお姉さん達が、踊っているではありませんか～。(寒くないの?)

こんなショーがあるとは、幹事もびっくり出す。

お客さんも踊りませんか?の声に「ハイっ」って普通に出て行く幹事～ず 2名。それを見て楽しむみんな。いやー、盛り上がりました。(踊ってくれた幹事～ず 2名にサクス♪)



～踊ったヨ～の図～

★ お帰りの時間だ～

新幹線で関西・東海に帰る方もいらっしゃるので、お開きに～。(終電とかありますもんね)

テストにかかわる人は、時間にも正確でスムーズにお店を出ます。

楽しい夜は、熱いまま終わっていきました～

★ 最後に～

後夜祭にご参加いただいた皆様、ありがとうございました。

なんと、WACATEに参加された方の半分も参加していただきました。

幹事～ずとして本当にありがたく感謝しています。

==後夜祭幹事～ずとは==

WACATE 好きな人が自主的に打ち上げの幹事を行う人々です。WACATE当日の2ヶ月前ぐらいから少しずつ行動が始まります。

前回までの幹事さん資料がありますので、仕事を抱えながらもスムーズに準備が進みます。

今回は、すぎたさん、やまださん、☆ALOHA☆さん、なみき が幹事～ずでした。

書いた人：なみき

P. S. 幹事～ず、新メンバー募集中です。

WACATEにきく※

第24回：【ジェットストリームアタックに感激っ！！
～仕様/設計&テスト&レビューの連携～】うえ〇つ☆なのさん

こんにちは！N村さんからバトンをうけとった“うえ〇つ☆なの”です。WACATEで着々と参加人数を増やしている東海組からの投稿です。担当しているお仕事は組み込み系のソフト開発。設計がメインですが、単体テストや結合テストもかじっています。WACATEに参加してもうすぐ丸2年。その中で2つのキーワードに出会い、その後の私を大きく変えました。今回はそのお話をさせていただきます。

「Wモデル」と「XDDP」との出会い

WACATE 夏への初参加となった2008年、そこでWモデルと出会いました。西先生が旧ザク3体(ドムじゃ無いところがさらにマニアック!)のフィギュアを使ってジェットストリームアタック(じゃなかった…Wモデル)を熱く説明されていたのが衝撃的で、その中に出てきた「開発とテストとレビューの連携によって品質が向上する」という言葉が心に響きました。

XDDPとは2009冬に出会いました。清水先生のお話でXDDPを知り「求めていたものはこれだ!」と思い、すぐにXDDPの本を購入しました。その中には、今まで自分が経験したトラブルや課題がそのまま書かれており、苦笑いをしながら読んだ記憶があります。「間に合わないモンスターの圧力」(納期が差し迫る圧力に負けて、仕様や設計が不十分な段階でついついコードに手をつけてしまう)という言葉がとても印象的で、このキーワードがその後の私の行動を大きく変えました。

XDDPの導入

XDDPを知る約1年前、私はとあるソフトの新規開発を担当しており、顧客から出てくる仕様をどうまとめ、設計に繋げるべきか思い悩んでいました。というのも、出てくる要求や仕様は断片的、仕様書と呼べるものはほとんどなく、テスト工程の段階になっても内容がコロコロ変わり、その度に設計書やソース、テスト仕様の変更にも追われていたのです。XDDPを導入したのはそのソフトの1stリリースが終わり、まさにこれからソフトバージョンアップ(差分開発)がスタートするタイミングでした。

XDDPの導入を決め、まずは打ち合わせやメールで顧客から断片的に入手した要求や仕様をUSD形式でシートに整理していきました。すると早くも机上レビューの段階で要求や仕様の抜けや考慮不足な項目が見えてきたのです(ビックリ)。その後、そういった項目を顧客に確認し、自分ではカンペキ!と思って仕上げたシートを使って社内や顧客先でレビューを行いました。すると、そこでも抜けている項目がポロポロ出てきたのです(またまたビックリ)。どう

やらUSD形式でまとめることで、断片的だった内容が整理され、漏れや抜けを浮かび上げらせ、自分や第三者に気付きを与えることができたようです。また、も

やもやした要求を仕様に関連付けて整理することで、その先に続く具体的な設計やテストをイメージでき、要求定義などの早い段階で設計やテストの観点を盛り込むことができたのです。



著者近影

Wモデルの導入

きっかけは顧客からの仕様Fix待ちで設計がストップしてしまったことでした。このままでは日程が後ろにずれ込むことは明白、納期直前に泣きを見る自分の姿が容易に想像できました。その時「間に合わないモンスターの圧力」が脳裏を横切り、コーディングを踏みとどまることができました。そして、納期までの残り時間を考えて思いついたのがWモデル。この際に単体テスト仕様を作ってしまうばいいんだ!と思ったのです。設計書に従って単体テスト仕様を作成したところ、特定のテストパターンを流すと0割が発生することが判明…。Wモデルを導入したことで実装前に設計の漏れを発見できたのです(ここでもビックリ)。

仕様/設計&テスト&レビューの連携は大切

今回のプロジェクトは、仕様Fixが予定より約2週間遅れたにも関わらず、大きなトラブルや手戻りも無く、納期を守ることができました。その大きな要因はもちろんXDDPとWモデルです。USD形式で整理した要求や仕様をレビューし、V字の左側の早い段階で、V字の右側の観点を盛り込むことで、今まで頻発していた手戻りを抑え、効率良く作業を進めることができました。仕様/設計&テスト&レビューの連携が大切であることを実感したプロジェクトとなりました。WACATEで出会った2つのキーワードに感謝感激です♪

WACATEではいつも運命的な人やキーワードとの出会いがあります。今度参加するWACATE2010冬でもどんな出会いがあるかととても楽しみです。

Software Test Topics

当番：上田卓由 (Magazine 編集部)

こんにちは 上田です♪♪♪

WACATE2010 冬、アツという間に終了しちゃいましたね。

今回もとってもアツい二日間でした。

参加されたみなさま、お疲れさまでした。

さてさて、今回は毎月のイベント情報のお知らせもさることながら、せっかく WACATE2010 冬が終わった直後なので、SoftwareTestTopics 的に絡もうと思います。

各セッションにおいて、出てきた書籍やこういった書籍が参考になるかもといったものをいくつかご紹介していこうかなと思います！！

【イベント】 JaSST' 11 Tokyo

<http://www.jasst.jp/archives/jasst11e.html>

2011 年最初の JaSST です！！

日程：2011 年 1 月 25 日 (火)～26 日 (水)

場所：目黒雅叙園 (東京・目黒)

参加費：1 日券 5,250 円、2 日券 8,400 円、

1 日券+チュートリアル 1 受講券 21,000 円、

1 日券+チュートリアル 2 受講券 15,750 円、

2 日券+チュートリアル 1 受講券 24,150 円、

2 日券+チュートリアル 2 受講券 18,900 円、

2 日券+チュートリアル 2 回 (1、2) 受講券 34,650 円、情報交換会 5,250 円、会場での弁当購入 各日 1,050 円

「Testing Trends and Innovations/テストングトレンドとイノベーション」と題しまして Lee Copeland 氏による基調講演が行われます。

また、今回より予稿集が PDF ファイルによるダウンロードとなるようです。

またまた、ホームページ上で JaSST' 10 Tokyo の開催の様子が動画で見れます。

実際、どんな感じなのかわかっていいですねえ～♪

【資格】 JSTQB テスト技術者資格試験第 10 回 FoundationLevel 申し込み

<http://www.juse.or.jp/software/40/>

申し込み期間が延長されました！！

開催日：2011 年 2 月 19 日 (土) 14:00～15:00

開催地域：東京、大阪、愛知、福岡、沖縄、北海道

試験料：21,000 円

申込期間：11 月 19 日 (金) 15:00～2011 年 1 月 6 日 (木) 15:00

2010 年 12 月 22 日までが受験申し込み期間だったのですが、2011 年 1 月 6 日 15 時まで延長されました。

「申込み忘れた～。。」「よし、資格とろう～！」と主 ty 他方、申込みしましょー！

【書籍】 ユーザーエクスペリエンス設計

<http://amazon.co.jp/o/ASIN/4822296024/wacate-22/ref=nosim>

ユーザビリティテストなどのお役に立てば

著者：神原典子

出版社：日経 BP 社

発売日：2010 年 11 月 9 日

ISBN-10：4822296024

ISBN-13：978-4822296025

【PDF】 testing experience

<http://www.testingexperience.com/>

the Magazine for professional testers

いい副題です！！

プロフェッショナルなテスターのためのマガジン！！

ユーザー登録(無料)することで、PDF をダウンロード出来ます。(バックナンバーもダウンロード可)

最新号はオープンソースのツールに関する特集です。

※ちなみに全部英語です～

【書籍】 いかにして問題を解くか

<http://amazon.co.jp/o/ASIN/4621045938/wacate-22/ref=nosim>

著者：G. ポリア

原著：G. Polya

翻訳：柿内賢信

出版社：丸善

ISBN-10：4621045938

ISBN-13：978-4621045930

発売日：1999 年 7 月

【書籍】 Manage It! 現場開発者のための達人式プロジェクトマネジメント

<http://amazon.co.jp/o/ASIN/4274067297/wacate-22/ref=nosim>

ローリングウェーブ計画法について

著者：Johanna Rothman

翻訳：でびあんぐる

出版社：オーム社

ISBN-10：4274067297

ISBN-13：978-4274067297

発売日：2008 年 10 月 18 日

このコーナーでは、書籍やイベントの情報を募集しています。

例えば、「来月勉強会とか OFF 会とか開催するんだけど掲載してくれない？」といったものでも OK です。

開催地も、日本全国津々浦々、どこでもかまいません。

情報をお待ちしております m(_ _)m

ぽじゃま★パーティー

てすバナ語るっcha

トライアル

■「そういえば、投稿戦士以外に
WACATE ファンの発信方法ってないよね・・・」
「ないなら創ってしまえばいいじゃない！」

↑ということっ☆

チャットルームを開設することになりました～

WACATE-Magazine の新企画として、投稿戦士以外のカタチで読者など WACATE ファンが関われるイベントとかできないかなあ？・・・という案から、チャットで座談会(分科会出張所的なもの)を開催したらいいんじゃないかなあ・・・という話になりました。

だいたい月1回開催で、その都度テーマを決めてみんなで語り合おう！という企画です。チャットの内容はMagazineに掲載します！

ロルールは今のところ以下のとおりだよ！

其の壱：

チャットの内容は WACATE-Magazine に掲載される前提です。したがってログを保存させていただきます。もしオフレコの発言がありましたら、その際に明確にしてください！なお、全部オフレコってというのは受け付けませんっ！！www

其の弐：

テーマに沿った発言をしよう！（できるだけ・・・）
毎回テーマを決めます。そのテーマから大きく外れないようにご協力願います。
オーナーが沈黙し始めたらそれは脱線復旧のチャンスを狙っていると察しましょうwww

其の参：

悪口や誹謗中傷の類はダメよ！（冗談は、明らかにネタってわかるようにね♪）

其の肆：

対話とか論議を楽しみましょう。ROM だけ、ひたすら語り続ける、といった一方通行にならないように心がけましょう♪

今回の開催日時(まあ夜です。パジャマパーティーですからw)、テーマ、申し込み方法はこのコーナーの最後に記載します。

オンラインという特性を生かして、各地のテスト大好きな仲間と繋がりたいと思います。皆様の参加をお待ちしております！！

■トライアルしてみちゃいました♪

去る 12 月 11 日 (Sat) 21 時からトライアル開催をしてみましたよ

トライアルなので Twitter で呼びかけました。集まったのは 9 名！チャットのハンドルネームは各自予め設定していただきました。

今回のテーマは・・・

「WACATE2010 冬で楽しみなこと」

WACATE2010 冬に参加されない方も含めて楽しくおしゃべりしました。チャット参加者のなかで実行委員は「コヤマン」と「ばんばん」の 2 名です。

2 時間程度で～なあって言ってたら何と 5 時間語りましたwww

ということで当たり前ですが、抜粋して掲載します♪
掲載していないところで非常にオイシイ話もしていますがあ～、これは参加者特権ということで割愛っ！ふふ♪
また、編集の都合で実際の会話と順序を入れ替えています。また、基本的に参加者の入力をそのまま載せていますが、多少編集を施しています。

本題突入時刻 [21:47:00]

ばんばん：皆さん、WACATE2010 に参加されますか～！

しんすく：おー！

うえだ：参加しまーす♪

rin2_：します♪

すぎた：はい、参加です♪記録を更新中！

コヤマン：皆勤記録ですなw

ばんばん：あ、そうですね。皆勤賞の方、まだいらっしゃいますヨ！

しんすく：素敵ですw

すぎた：けど、毎回新しい出会いがあるので わくわくします。

ばんばん：さて、2010 について・・・どこから話をしようかな。

コヤマン：まあ、しゃべりたい人からどーぞ的なw

◇まずはポジションペーパーについて

すぎた：ポジペって、どのくらい時間かけました？

コヤマン：僕は 1h くらいですかねえ。>ポジペ

しんすく：私も **フォトショップ** で 1h ぐらいです。

コヤマン：フォトショwww

うえだ：ボクもそのくらいです？

ばんばん: 私は2時間くらいかなあ・・・勢いでw
すぎた: ぼくは、**神様が降りてくるのに2日、作成10分**
(笑

rin2_: はやいですねえ (^_^ ;

しんすく: さすが

コヤマン: 常連は神頼み、かw ですよねーw

ばんばん: ああそうですね。当日にならないと他の皆さんのポジペは拝見できませんものね。今年はどんなおぼかな・・・(げふげふ)立派なポジペがみられるんでしょうかね～

ばんばん: ところで、**ポジペそのものが楽しみ？ポジペセッションが楽しみ？**

うえだ: セッションは楽しみですね。もう何回かやってますが、**毎回緊張します**

しんすく: 今回も、ハズしませんっ！

コヤマン: 僕もやるとなったら確実に緊張するなあw

すぎた: 中身は、当日のお楽しみですね。あとは、**実は、ポジペはプレゼンのライトな練習ですね。**うまくできないのは、相変わらずですが

ばんばん: そうですね。ポジペセッションってプレゼン練習だと思う。うん。今年はポジペセッション参加してみたいなあ(ぼそ)

コヤマン: お、ばんちゃん立候補w

ばんばん: 今回はオープニングに会場入りできるからね～♪ここんこと事務局づめだったもので

すぎた: 実行委員の方も、混じるのありじゃない？いろいろ、準備で忙しいとはおもいますが

コヤマン: **ポジペセッションにも実行委員が積極的に参加できる**といいですよー

すぎた: ぜひ！

コヤマン: せっかくのプレゼンの練習機会がもったいないよねwちゃんと資料作ってるのにw

ばんばん: 実行委員も一緒だと嬉しいですよね。て、私1回しか参加者経験ないけど。

コヤマン: 確かに、参加者が安心するかも。なんか、〇〇っぽい人が写真撮ってるー！だけじゃなくて、実行委員ってわかってもらえるかもw

ばんばん: **ポジペ賞選ぶときって、プレゼンもやっぱり考慮するものですか？**

うえだ: ボクはポジションペーパーみて選んでますー

すぎた: してないなあ、限られるので。同じく、ペーパーで決めます

うえだ: **自分の班のプレゼンしかきいてないので、プレゼンは考慮してないです**

しんすく: うん、翌朝ゴハンたべながらって感じですね。

ばんばん: なるほど。やはり**紙でどれだけ主張できるかがカギ**ですね。

コヤマン: やっぱりインパクト重視なのかなあw

すぎた: と、思います。

うえだ: 大概、夜の分科会が終わって、自分の部屋に戻ったときに、ポジペ、がーって読みます・・・そこしか時間がないので

しんすく: **インパクト「だけ」でもダメ**なのは体はって立証済みですw

すぎた: インパクトでなくて、ポジペの内容重視になります。

ばんばん: 私も内容で気に入ったものを選んだりしますね。
しんすく: みなさんちゃんと内容みてらっしゃると思います？

コヤマン: おお、やはり。

ばんばん: **図とかが無い、文章オンリーのものでも、素晴らしいのがありますよね。**

コヤマン: ポジペって、家に帰ってから見たりします？

しんすく: うん、家とか、会社においてあって、**新卒にみせたりします。**

ばんばん: 私は初回はほとんど家に帰ってからみましたねwww

すぎた: 今見ると恥ずかしいです。

コヤマン: wwwwww

コヤマン: 新卒に見せるのは、モチベーションを上げるため、かな？

すぎた: ポジペも、ゲストの方に選ばれるようなの書いてみたい。

しんすく: うん、モチベーションもさることながら、**社外の若手 もしてほしいな**ーって。

ばんばん: ああ、選んでいただけたら嬉しいですよええ。

コヤマン: いいねー。**社外にはこんなアツイヤツラがいるぞ!**ってコトね^^

しんすく: そそ。

コヤマン: 辰巳さんはどんなポジペを選ぶのかなあ

しんすく: Σ(┐┌||| 今年がんばるんだった:しまったw <辰巳さんに選ばれたい

rin2_: それは興味ありますね<辰巳さん選

すぎた: おなじく

◇クロージングセッション大人気！！

しんすく: **楽しみなセッション。**もう、ぶっちぎりで「ソフトウェアテスト・ヒストリーの学び方 ～タメにならなければ学ばない。面白くなければ学ぶ資格がない。～」なぜか(という)ソフトウェアテスト PRESS の辰巳さんの記事が大ファンだったので。

コヤマン: うんうん^^

しんすく: 歴史好きなんです。てゆか、「**いまなんでこうなってるの?」を知るのには、歴史を知るのがてっとり早く。**

すぎた: それだいじ

コヤマン: うんうん

しんすく: なにげに辰巳さんの記事のコラムもむちゃくちゃおもしろかったし。

ばんばん: 辰巳さんはねえ・・・いいですよ絶対おすすめっ！

しんすく: **V字を折り曲げた奴だれだよ!!** とか、C1って、**全員混乱してるよね?**とか。もうねー うはうはです。

rin2_: たしかに(笑

コヤマン: うん。コラムもいちいちアツイよねw

ばんばん: たぶん当日もいろんなお話がきけるんじゃないかなあ、って、60分で足りるのかなホント

コヤマン: もうね、スライド見てるけど、かなりアツイw

しんすく: やヴァいw

rin2_: いいなあ、早くみたい。。

すぎた: うらやましい

しんすく: あとですね、去年の JaSST でも、辰巳さんに直接お礼を言ったのですが、**会社の人間に自社のレベルを説明するときに超重宝したんです、あの記事。**はい、俺等ココ!!わかる!?1970年代っ!!進化しようぜ!!!いい加減!!!って。

コヤマン: なるほど!

うえだ: あ、なるほど?

しんすく: **せめて平成までいこうぜ!!!**って。うん。

ばんばん: そうか、そういう使い方があるかあ、確かに

うえだ: 今度、使ってみますー

rin2_: その使い方、いいですね>しんすくさん

すぎた: 結構、昔の成功体験ゆえに変わらない、変えられない組織あるときく。

しんすく: というわけで、下敷きが死ぬほど楽しみなわけですよ。いちいち Vol8、9とか引っ張ってこなくて済む。

コヤマン: なるほど~

うえだ: あの年表、わかりやすいですもんね

しんすく: うん。何より客観的ですし。

コヤマン: あ、ただ補足。年表は A3 の普通の紙なので大事にしまっておいてネw

しんすく: あ、下敷きじゃないのねw 了解、**部門の壁に貼っておきます**(マジでやるよ。

コヤマン: うんw A3 でも字が小さいw

うえだ: たのしみっす

ばんばん: まあ A3 のカードケースに入れときゃいいんじゃないか?

コヤマン: うんうん。100均とかでクリアケースあるしね^^

ばんばん: でもきっと**辰巳さんが本気でしたら(年表のサイズは)ロール紙で印刷するレベルだよ**www

コヤマン: うんうんw

うえだ: でかいなあ。。。

ばんばん: 何メートルになるかみてみたい~

しんすく: **品質保証部門はみんな壁にはるべきだよ。**

コヤマン: ソフトの品質保証がしっかりしてるところにはホント重宝するだろうなあ

うえだ: 壁にはって、常にみんな見れる状態にするっていうの大事ですよ

しんすく: もうそれ、80年代にさんざん議論してるから!ね!?!、はい、ここ!

コヤマン: 大事!

しんすく: うん、大事!

しんすく: 物理大事!!

コヤマン: やっぱグラフィカルなものは大事。

すぎた: とっても大事

コヤマン: 会議中もグラフィカルにしないとすぐ空中戦になるもん

rin2_: うんうん、確かに。

コヤマン: 空中戦好きな政治屋さん多いけどw

すぎた: ていうか、そんな会議は勘弁

しんすく: というわけで、私が楽しみなのは「ソフトウェアテスト・ヒストリーの学び方」でした。

◇BPP セッションにも注目が♪

コヤマン: rin2_さんは?今回の楽しみを1つ上げるとすれば!?

rin2_: そうですね。**おもしろそうなディナーセッション**でしようか(^_^;;

コヤマン: ww

rin2_: もう1つあげるなら、**BPP セッション**でしようか。

コヤマン: おお。小田部さんセッション!

ばんばん: おお、BPP。小田部さんはプレゼンうまいですからねえ~

しんすく: 私、生で聴いたことないので楽しみです♪

コヤマン: **ZEN でやってくれるのかしら?**

うえだ: ボクもきいたことないっす

コヤマン: ZEN をよく知らないのですがw

rin2_: ZEN 形式(?)だと、質問するほうが試されます(^_^;;

すぎた: ZEN は、ないでしね

しんすく: 最近技術系の LT とかで死ぬほどよくみる形式ですわ。

コヤマン: でも僕も生で小田部さんのプレゼン見たのって、S-Open のときくらいだから楽しみですわー何より、内容が楽しみ^^

コヤマン: しょーごさんは、**プレゼンの中身が楽しみ?**

rin2_: そうですね。**どんな切り口でどんなことを発表してくれるのがすごく楽しみです**(^^

うえだ: WACATE とスキーですもんね

コヤマン: タイトルがアツいですよね^^

しんすく: タイトル見て小田部さんだなあ、と思いましたww

うえだ: 釣りとか撮影とかかと思ってたんですがw

コヤマン: スキーもインストラクター試験受けるくらいの腕前ですからねー小田部さんってば。

しんすく: **男子力たけえw**

◇あのさあ WACATE の W はワークショップなんだよ(嘆)

ばんばん: なんかさあ・・・**肝心のワークショップが楽しみって話が無いよね**・・・(しょぼーん)

コヤマン: そういえばw

すぎた: 今回は、**大西さんの話も楽しみ。**

コヤマン: ww それもワークじゃねえwwwww

すぎた: あと、加瀬さんの「**デシジョンテーブルを使いこなそう!**」も聞いた事がないので楽しみ

うえだ: ボクもデシジョンテーブルは楽しみです

コヤマン: 加瀬さんのは、**手を動かすタイプ**でしたわ、そういえばwウチの若いのが今回も参加するんですけど、彼は手を動かすのがホント好きです、と言っていましたわ

すぎた: そうよ、ワークショップ1ですわ

うえだ: 「**どんなテストが必要か考えてみよう**」も**予習会のお題になりましたが、楽しみです**

ばんばん: 加瀬さんのは勉強会や JaSST で経てきているものがあるだけに、内容は濃いと思いますよ

しんすく: うん、加瀬さんのは、楽しみというか、安心w

うえだ: デシジョンテーブルは、「この使い方であってるのか?」(という疑問)があるので是非!

rin2_: 河野さんのワークショップ3は、謎っぽくて楽しみです (^_^ ; ;

すぎた: そいえば、河野さんのワークショップ3の「技法の必要性を考えてみる」の宿題のポイントは、予習しないでくださいだね。

ばんばん: 一方、どんなテストが必要か・・・のワークは実行委員会の中でも若いメンバーによるもので、これまでとはまた違った楽しみがあるんじゃないかなあと思っています。

しんすく: 井芹さんが何回「あ、すみません」って言うかを密かにカウントしようとしています

rin2_: ww<カウント

コヤマン: ww

しんすく: また別の視点から楽しみですw ワorkshop 2

ばんばん: 河野さんもね、いつも独特なテーマを持ってるので実行委員も楽しみです。

◇先輩に憧れ、刺激をいただき、世界へ！！

ここから Dreamstate さんが乱入することで大騒ぎなチャットルームになりました・・・あれ？このパターン、翌週もオフで見た気がするんだなwww

前夜祭に行く？いかない？という話をしたあと、ゲストの先輩とお話することについて話が盛り上がりました♪

ばんばん: 辰巳さんとお話できるのは、本当によいですよー♪先日お話をさせていただきましたが、まあ少年のように楽しくお話をさるんですわ。

コヤマン: うんうん。

Dreamstate: もう、リアルタイムで見てきた「生き字引」なので。

ばんばん: だから皆さんも是非辰巳さんと直接トークしてみてくださいね。ディナーの時とか分科会のときとか。

うえだ: はい♪楽しみですよ

ばんばん: そういえばね、去年の清水さんも、参加者の皆さんととてもお話しががっていましたよ。

コヤマン: 冬は、ホント大御所とお話できるので、それだけでもプラスになること間違いなしです

ばんばん: 奈良さんも松尾谷さんも、みなさんとても気さくにお話してくださる、素晴らしい方です。はい。

Dreamstate: うん。そういう「先頭走ってる」人たちって、みんなトンがってるじゃない？そういうトンガリに触れると、「憧れモデル」というかいつか自分も！って思うんだと思う。その「刺激量」って、すごく未来に影響するんじゃないかな。このIT産業の。

しんすく: 「憧れモデル」重要っすね。ほんと

ばんばん: そういえば私がすごーく嬉しかったのが、2007で奈良さんが講演したあとに、お礼を申し上げたら、その後覚えていてくださって、よく声をかけてくださるようになったんです。実行委員になった後も「がんばってるね」って。そういうのは、本当に感動しますよね。

うえだ: 実はWACATEに参加してからその「憧れモデル」というのがわかりました。「こうなりたいっ」みたいな

コヤマン: やっぱ、カッコイイ大人に憧れるのは重要ですよ。

しんすく: そゆのがないと。守破離の「守」ができない。
コヤマン: あの先頭走ってる人たちって、ホントすごい刺激量のくせに、ホント普通に話しかけてくるからホントスゴイですよ

Dreamstate: あ。そうだろうね。刺激が強すぎるが【気さくだから余計に刺激】な。

コヤマン: ww 智美塾でホントすごい刺激量を体感してますw

Dreamstate: いつかあんな風に「かっこいいおっさん」になりたいよ。<俺も憧れてる人たち

しんすく: 中間管理職ですわwww>Dreamstateさん

コヤマン: ww

Dreamstate: あー。そうそう。中間管理職の気分。

しんすく: 追いつつ、追われww

Dreamstate: (うかうかしてらんないな。(笑))

コヤマン: 上には上がいるんですなあ^^ ;

しんすく: よろしくーw

ばんばん: あああせめて中間管理職にはなりたいですわねえ

Dreamstate: でもね。。。一つ面白い話をすると、【トンがってる】人たちって、刺激を与えられるようになるんだ！って思ってなった人は少ないと思う。好きなことやって、問題意識を常に持って、あらゆる命題に「俺ならこうやる！」って自分らしさを注入しながら我が道を行った人がそれこそ「道を開いた」んじゃないかな。

コヤマン: すごくわかる気がします

しんすく: ちと高度ですが、ウッス。

コヤマン: 日本だと、そうする人が少ないから、トンがって見えるんだと思ってます

Dreamstate: うん。それもあるね。<日本国内のトガリ職人が少ない。今後の日本の課題だと思う。

コヤマン: 新しいところで大変そうですね。

コヤマン: そういったところも大西さんから聞きたいなあw当日w

Dreamstate: うん。聞いてみるといいと思う。<外人に対してどう戦うか。>大西さん。

しんすく: お。期待。

Dreamstate: きっと、世界に出て行った人はみんな同じ答えを持っていると思うよ。これからのWACATEを、日本飛び出す人材輩出の機会と、視野を広げると面白いかもよ。せっかくタイトルがローマ字なんだから。

しんすく: あー。そのままいけますね。

コヤマン: ふふふ。だから(BPP賞の記念品が)地球儀なのですよ！！

しんすく: SUSHI, TENPURA, WACATE

Dreamstate: テストを武器に、世界に飛び出すワカゾウの登竜門に。

コヤマン: wwwwwwwww

ばんばん: はい。それはコンセプトの延長ですね。なにせ「加速する」ですから。

しんすく: あー

しんすく: 海外のWACATEとも話してみたいですね。

コヤマン: はい^^ そういった場にすることが目標ですから^^

コヤマン: 登竜門、ね^^

Dreamstate: 本気でやる気なら、夜中に、Rex 氏とか、いろんな人たちとビデオ会議とか頼んでみてもいいかもよ？

コヤマン: おお@@;

しんすく: **そっちの WACATE 紹介してよ?**と。

コヤマン: 確かに、**海外の有望な人材も興味ありますね**

Dreamstate: うん。そういう「破天荒」な企画考えていいと思う。

コヤマン: おー

Dreamstate: 加速って、そういうことだと思う。よい意味でのエスカレート

コヤマン: ヤバイ、色々閃く。

ばんばん: 面白そう・・・語学の課題は残るとして(汗)

しんすく: **日本のテスト技術は進んでいます**って JSTQB で断言されてたけど、**ホント??ってというのが実感**。にとしてはキャリアとかないし。AT&T とかすげーし。

Dreamstate: UStream でながして、途中で Skype とかで重鎮たちの乱入ありとか)

しんすく: ぜひに。

コヤマン: うんうん

Dreamstate: 英語の問題なんかは、結構「しかけ」でいろいろできる部分あるしな。

コヤマン: MS やら google やらの若い有望なテストエンジニアとの交流、興味あるな

ばんばん: **中国のテストエンジニアとお話できたら嬉しいな**あとも思っているんですね。

しんすく: あーーーーいいですね。

すぎた: **おれ、インド**

rin2_: おもしろいですね。

コヤマン: おー

ばんばん: 日本に來られている中国の方々ってすごい勉強していて頭が下がりますもの

Dreamstate: (ワールド WACATE セッション? = WWS?)

しんすく: **中国は、大連、南京、北京、上海でそれぞれ色がちがうっぽい**。(プロレスみたいだ w

コヤマン: ww

ばんばん: 中国はそうみたいです。でも実感したことが無いんです。

Dreamstate: **各国の代表が、マントとか、衣装着て「中国からの乱入だー!**」ってのがあっても面白いと思うし。

コヤマン: ww

コヤマン: ウチラの世代で、やるべきことなのかも知れないな、と少し思った

◇分科会や、SSF セッションもよろしくねw

ばんばん: あと分科会と、SSF の話題が出ていないのですが・・・そーなのよ;.SSF 楽しくないのかなあ(しくしく)

コヤマン: ww

しんすく: JaSST で肝心なところが無かった気がするのでそのフォローがはいるかどうか楽しみ。

しんすく: で、**実際どんなキャリアなのよ!?**って部分。

コヤマン: そういう視点かッw

rin2_: JaSST では聞けなかったので楽しみにしていたりしますよーSSF

コヤマン: SSF は、まあ、なんつーか

コヤマン: (参加者)H さん相手に、自分のスキルを計測し

てみましょう! ってゆーのよ、オレw どんない罰ゲームだっつーのw

しんすく: ちょっと戦わせてみようぜー っていう無邪気な ww

ばんばん: その傍らで辰巳さんが計測していたりして ww

コヤマン: まあ、生温かく見守ってもらいたいんだぜw

しんすく: 次の年表に載ってたりして www

ばんばん: でも、**.SSF 自体は年表に確実に追加されますね**☆

この後分科会について、参加できなかった人をチャットルームに呼びたいね~という話をしました。

実はその後準備はしたのですが、参加者がいなくて Twitter 実況に切り替えました。

また、ちょっとした分科会アイデアもいただきました♪ 実現するかなあ・・・w

◇セッション以外のちょっとした時間も貴重だよ

そして、2 名ほど、東海と九州の仲間が増えたところで、勉強会のお話。更に脱線をして、深ああいお話になりました。

ふ、内容はヒミツだぜいw (聴けるのは参加者特権です!! w)

・・・そして、まだ若干脱線しているけど無理やり修正がかかりますwww

Dreamstate: WACATE2010w の「楽しみなところ」を続けて。つづけて。**あるべき勉強会の姿**。。って方向を考えながら議論するといいいんじゃないかな。こういう「ちょっと枠外」

の話でも、**みんな経験してることは共有できたり、やりとりできるのもいい話**だよ。<実は休憩時間のだべりすら価値あるもの。

コヤマン: はい。僕もカジュアルミーティング重視派ですw

Dreamstate: メシ食ってるときが一番油断するから。(笑) マヨネーズ大王: **ただのしゃべりが意外と白熱しておもしろいw**

Dreamstate: タバコ場とかもガラのわるーいのがたむろして、重大な話してたり

マヨネーズ大王: 特にお酒が入ると熱くなるし (この前の TEF 東海忘年会で H さんが暴走していたw)

うえだ: タバコ吸いながらの話は大事ですね

マヨネーズ大王: 喫煙所は大切な情報交換らしいですね。

横との連携が唯一取れる場所w

マヨネーズ大王: ある人は吸わないのに、無理して入るとか・・・

しんすく: そっか、喫煙所は、「横」しか持ち込めないから、か。

うえだ: **WACATE のときも休憩時間のタバコはいいお話しけたりします**

マヨネーズ大王: つまりリラックスして上下とか意識しない環境が重要と

しんすく: あ、上下というか、プロジェクトが縦、組織が横

うえだ: ちょっとオフサイトになるのがいいのかもです

しんすく: でも、ナレッジスペースとか作ってもあんまり利用されないんですよ。エンジニアを時給で使ってるからだ。

コヤマン: タバコと酒は昔からコミュニケーションの場ですわ

マヨネーズ大王: あれだ、職場にお風呂を用意するとかw

コヤマン: 時間の使い方をいくつか許容するだけでも変化が出る気がしますけどねー

Dreamstate: 帰りに銭湯にみんなで行くプロジェクトは、一発で成功した覚えがあるなあ。。

ばんばん: マホロバの大浴場は活用されているのかしら

コヤマン: ゆっくり入れていなかったりして…w

うえだ: 大浴場いいすよー

Dreamstate: 30分からすの行水とかか? (今回は、ライブの直後にバンドメンバーで入ったなあ。。)

うえだ: そーですねー 次何やるかの打ち合わせしてましたね

Dreamstate: (テストの話一つもしなかった記憶が)

マヨネーズ大王: w

コヤマン: ww

rin2_: www

コヤマン: 分科会の設営行ったから、行けなかったんだよなあw風呂w

マヨネーズ大王: 残念とぎれたか>wの数が増えてたのに

ばんばん: おわすさんは「なんでWACATEでバンド??」って思ってたっしょるかしら?

おわす: あ、WACATEとバンドは別の話かと!

Dreamstate: テストのバンドってのがあったんですよ。

そして話は3-PICTの話題そして湯本さんの替え歌の話題にw

◇ってコレヤバイ。何がヤバイって時間がw

マヨネーズ大王: え?

うえだ: あ?

コヤマン: 21時開始で今26時w

マヨネーズ大王: ほうww

コヤマン: 5時間チャットしてるわw

うえだ: 5時間30分か?

コヤマン: クロージングとしましうかねw

マヨネーズ大王: 皆様zzzな感じですね

コヤマン: 皆さん、本日は有難うございました!

おわす: あまり参加できませんでしたけど、お疲れ様でした!

コヤマン: ちなみに、このてすバナ chat、正式名称は「ばじゃまパーティ★てすバナ語るっcha!」とする予定なので、次は皆さんパジャマでご参加くださいw

コヤマン: お疲れ様でしたー^^

しんすく: お疲れさまでした?♪

マヨネーズ大王: 乙です!

すぎた: おつかれさまでした。おちます。

Dreamstate: おつかれさまでした。おやすみなさい。よい夢を(微笑)

ばんばん: あれ?気づいたら終わってるwww またよろしくお願ひしますね☆

うえだ: はい★

ばんばん: あたしはパジャマ着てたよ~

コヤマン: 編集して、次号のMagazineに載せますw

おわす: 次もあるんですね!また参加します(させてください)

ばんばん: 是非^^北海道組とか東海、関西、新潟、各地の皆さんとつながりたいです~

終了[2:42:06]

■参加方法と次回予告だよ

□チャットに関する要件は以下の通りです♪

・Skypeのチャット機能を利用します(ボイス通信は使いません!)

・グループに参加していただきますので、コンタクトリストにない人が含まれるチャットに参加できるように設定してください

・チャットに表示される名前を、Magazineに掲載してよいハンドルネームに設定してください

次回開催は・・・

1/22(土) 21:00~ chat 開始!

20:55にはパジャマに着替えてskype前集合♪
テストのお話しましょう♪

■参加申し込みは以下の方法で!

=====

WACATE-Magazine編集部のチャット窓口

(magazine-chat@wacate.jp)に

「てすバナ参加希望」という件名で

以下の情報を添えてメールしてください。

- ・名前
 - ・Skype名(アカウント名もしくは登録アドレス)
 - ・チャットで語りたくないこと
- =====

皆さんのお申し込みをお待ちしております☆

今回のチャットルームオーナー: ばんばん

池田暁の

ミュージカルに恋して。

[第二十五幕]2011年明けましておめでとうございます！

■明けましておめでとうございます！

2011/01/10年、いつの間にか新年を迎えてしました。毎年12/31の大晦日までなにかしらの理由で動いているので、あまり実感はありませんが、ともかく明けているようです。ナイナイ岡村さんの年越し番組もなくなってしまったので、そういったワクワク感がないのもいけないのかなー、などど思ったりしています。

兎も角、年は明けてしまったので、心機一転、このコーナーと共に頑張っていこうと思います。皆様、本年もどうぞよろしくお祈りします！！



■2010年を振り返る

すでに年が明けているので振り返るには遅いのですが、まあ恒例ということなので、簡単に2010年の観劇関係を振り返ってみることにします。なお、紙面の関係上、今回は前半です。

* * *

■1月

2010年の年明けは歌舞伎座のさよなら公演もそろそろ終了…ということで「新春大歌舞伎」が観劇初めとなりました。どの演目も良かったのですが、

「松浦の太鼓」が笑い初めにぴったりで、実際に笑えばなしでありました。

その翌日には「細雪」。2009年に帝劇で観劇していますが、このときは明治座。相変わらずの着物の美しさに感嘆しました。

ミュージカルとしては「ウーマン・イン・ホワイト」。再演ということになりますが、キャストがプリンシパルが大幅に変更になっており、新しさは感じたのですが、ちょっと軽くなってしまったようで残念でした。初演ほどのおどろおどろしさも薄まってしまって、ミステリー色が薄まったのが残念。曲は相変わらずの難曲揃いで、皆よく歌っていたと思います。

■2月

例年1月～3月はあまり演目がないのですが、なんと2010年の2月は観劇はゼロ！あまり行きたい演目もないしなあということで、敢えて観劇せずに頭をリセットしてみた月でした。

■3月

なんといっても帝国ホテルでの「井上芳雄ディナーショウ」でしょう！会場99%以上が女性という状態でおっかなびっくりといった感じでした。この月はコンサート月間で「それぞれのコンサート」市村版、鹿賀版両方に足を運びました。

■4月

この月から帝劇は「クンツェ&リーヴァイ」月間を開始！ということで、その皮切りとなる「レベッカ」を観劇。2009年にシアタークリエで上演されており再演となります。このときにはダンバース夫人（ダブルキャスト）は涼風版を選択。シルビアさんとは違う怖さを堪能したのでした。

■5月

5月もレベッカ。もいっかい涼風版を観劇。すでに一度観ていることもあり、舞台や演出を中心に観劇です。クリエと帝劇ではいろいろ変わっていて、その違いを見つけるのも楽しいものですよね。

■6月

宝塚の「スカーレット・ピンパーネル」を観劇。初演を見逃して後悔していたので、非常に楽しみにしていました。このときはSS席での観劇でしたので、終始テンション上がりっぱなしで、終演後はなんと表現したらいいかわかりませんが幸せ一杯達成感一杯という感じでした

■2010年前半を振り返って

2010年はほとんど観劇していないイメージがあったのですが、こうして振り返ってみるとなんだかんだで月イチペースを保っているわけで、なんだ、相変わらずじゃん、と自分に思いました。(^-^)

* * *

■終わりに

1月～3月は観劇控えめ。あ、ゾロは観に行くかもしれません。あとはやいうちに宝塚に一度。それから昨年あまり観られなかったストレートプレイをいくつかみたいなど。観劇会、今年はまた企画したいです！<終>

WACATE-Blog

出張所

■Blog 出張所リニューアル。

最近更新が滞っていた WACATE-Blog 出張所ですが、今回から少し色を変えてお送りいたします。

…というのも都内某所にて。

「もう少し、Blog 出張所でなんとかできないかね。んー？」



…という話がありました。

まあ冗談はさておき。

最近 WACATE-Blog 出張所の掲載が出来ないのは、本会がバタバタしていたり、書く実行委員が忙しい、書く実行委員がいない…などの理由もあるのですが、何よりも「何を書いてよいのかわからない」など”掲載できるネタに苦心していた”というのが正直なところだったのです。そこで、それを打破すべく飲みながらお話をしていました。

「実行委員の近況というか、WACATE の近況を見せるようになれば嬉しいんじゃないかな。」

「あぁ、実行委員が何をやっているかも見てもらえますよね。」

「見た人が、これなら自分もできる！実行委員やってみよう！とか思えると実行委員増えるかもですね！常に募集中ですし！」

「なんつったって WACATE-Magazine なんだから WACATE のネタ増やそう。」

「おおー。色々聞いてきた！いいですねー！やろうやろう、早速次からもう入れよう！」

「入れるの大好きだなぁw」

とかまあ、後半はさておきそんな話合いが持たれていたりしたワケですよ。奥さん。

■とゆーワケで。

てなワケで今後、WACATE-Blog 出張所は WACATE 実行委員の近況の他、次の WACATE に向けての動きなどを紹介できる範囲で公開していこうかと思っています。

WACATE、または WACATE 実行委員会に興味を持った方は是非、magazine@wacate.jpなどにご連絡をいただければ幸いです。

■次の WACATE に向けての近況

現在の次の WACATE に向けての活動は以下です。

◆実行委員会ネタ

- ・ 年明けてからの第 1 回 WACATE 実行委員会 あーんど新年会日程調整中！
- ・ WACATE 2010 冬 振り返りをオンラインで鋭意実施中！
- ・ WACATE 2010 冬にて実施した Test. SSF のデータのまとめなどをし、ASTER と連携中！
- ・ ○○への寄稿依頼中！
- ・ Magazine 掲載用、WACATE 2010 冬レポート作成！（これがリリースされる時には終わっているはず！w）
- ・ WACATE 2011 夏に向けてのテーマを各自妄想中！

◆WACATE ネタ

- ・ 「次回日程」・「場所」が仮決定！（詳しくは後ほど正式に告知します。）
- ・ まだ上記以外は何も決まってません！w

◆その他活動ネタ

- ・ Software Testing ManiaX vol.4 の残務処理実施中！
- ・ とあるイベントのお手伝い予定！

…とこんなカンジです！来月にはもう少し具体的な内容でお届けできるかも^^

書いた人：コヤマン

開運

源太郎の
ソフトウェアテスト占い

※「ソフトウェアテスト占い」とは…
日本の伝統的な暦で知られる気学(九気性)をもとに、日本古来の統計学とソフトウェアテストで培った時代の統計学を組み合わせ考察された占いである！(笑)

	生まれ年	1月の運勢
一白水星	S38/S47/S56/H2	今月も運気は盛運が続いている。好機を取り逃していた方も、新年を迎えて心機一転して一歩ずつ着実に進めば、思わぬ助けがあるであろう。 酒・色に注意すべし。
二黒土星	S37/S46/S55/H1	年版の暗剣殺・歳破を受けているために、運気は不安定な状態になる。しかし、虎穴に人らずんば虎子を得ず。時として勇気が肝心である。多少障害があっても思い切って進めば良し。口舌の災いに注意すべし。
三碧木星	S36/S45/S54/S63	今月の本命星と年盤との相性も良いため運気は上昇傾向にある。 ただし自身が乾宮にいるため石橋を叩いて渡ることが吉。何事も慎重に行い、地道な努力を怠らないこと。運気が良いだけに、他人の甘言には特に注意すべし。
四緑木星	S35/S44/S53/S62	運気は低迷を続けているために、月盤上で暗剣殺を受けているために、自分勝手な行いでつまづく可能性がある。相手に対して真摯な態度をもって接すべし。月盤の本命星と定位盤の離宮の影響を受けて、燃えやすく冷めやすい、特に愛情問題に注意すべし。
五黄土星	S34/S43/S52/S61	運気は上昇傾向にあり、これまでの努力が報われる月(年)になるであろう。目上の人への思わぬ引き立てもあって、事が成就するであろう。月盤の位置から冷え・血流・下腹部の健康に注意すべし。
六白金星	S33/S42/S51/S60	運気は吉凶を繰り返し不安定な状態が続いている。周囲の意見を良く聞くことが吉なり。特に月破を受けているので、自分自身の落ち度(ケアレスミス)が無きよう、注意すべし。
七赤金星	S32/S41/S50/S59	年盤の五黄殺を受けているために、運気は低迷傾向にある。兎角他人の欠点ばかりが口につく月となりがちである。しかし、短所と長所は裏返しであり、見方をかえて接すれば諸事好転すると考えるべし。
八白土星	S31/S40/S49/S58	運気は盛運月となりつつある。ただし依存心が失敗を生む要因となるために注意すべし。自己の更なる努力が求められる月である、縁を大切に気長に取り組むべし。他人の助けを当てにせず、責任を持って行動を心がけよ。
九紫火星	S30/S39/S48/S57	運気は引き続き衰運傾向にある。年盤の暗剣殺・歳破を受けているので今月は、冷静さを失わず堪え忍ぶことが肝要である。ただし解決は意外に近くに訪れるであろう。

月盤 九紫火星				年盤 七赤金星				
南		暗剣殺		月破		南		
東	8	4	6	西	7	3	5	
	7	9	2		東	6	8	1
	3	5	1		五黄殺	2	4	9
五黄殺		北		北		西		
						暗剣殺 歳破		

◆今月の注意事項◆

皆様、新年明けまして、おめでとうございます。昨年はどうな年だったでしょうか？
良かったことも悪かったこともたくさんあったと思いますが・・・暦の上では、節分(旧暦の新年)を迎えるまでは年(年盤)が変わりません...
神社では、今年の神様をお迎えしていますので去年の悪かったことは忘れ、良かったことが長続き・再来することをお祈りいたしましょう。
今年一年も皆様にとって良い年でありませう、祈念いたします。

それでは皆さん、「今年一年、良いテストを！！」

お知らせ

1月31日(月)にWACATE-Magazine vol.26 発行します!(たぶん)

次号の特集は「JaSST' 11 Tokyo Report!!」を予定しています★

来たれ! 投稿戦士!

WACATE-Magazine では“ソフトウェアテストや品質に関する記事”を常に募集中です。
来たれ! 投・稿・戦・士!!!

WACATE-Magazine はボランティアベースで発行されています。したがって原稿料は出ません。※ノーギャラです。
投稿いただいた原稿の掲載可否、掲載時期については編集部で決定させていただきます。
特定の商用ツールやサポートなど営利色が強い原稿は原則として掲載いたしません。
レイアウトなどは全て編集部で行います。また、特に戻り確認などを行いません。
単なる論文は掲載しません。紙面の雰囲気を読んだ、イイ感じな文体や内容をお願いします。
公序良俗に反すると思われるものについても掲載しません。

以上を了解した上で、覚悟完了! の方はWACATE-Magazine 編集部「magazine@wacate.jp」まで、是非ご連絡ください。
折り返し、担当より要綱をご連絡いたします。
楽しい、そして役に立つ紙面にするため、是非ご協力いただければ幸いです♪

☆その他、WACATE-Magazine では以下の情報をお待ちしています☆

- 書籍情報(オススメ書籍情報も可)
 - イベント情報(ソフトウェア/品質/テスト関連)
 - 勉強会情報(ソフトウェア/品質/テスト関連ならなんでも)
 - オフ会情報(ソフトウェア/品質/テスト関連)
 - デザート情報(甘いものならなんでも。イカス! やつで。)
- などなど、お待ちしております♪



編集後記

★★★ WACATE 実行委員募集中 ★★★

いいんちょ★2011年はうさぎがジャンプするように、WACATEもジャンプの年にしたい!
きたー★2010年は体を崩しがちだったので、2011年は健康な一年にしたいです(^-^)
よえだ★2011年はもっと加速していきましょー
あたべ★ひたすらスキーしてたらバランスが良くなって背筋が伸びてきました。
コヤマ★明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願いたします!
ばんばん★今年も楽しく歴史を作っていこうね☆
まーくん★早めの行動を心がけて一年を健康に乗り切ろう!
あらかみ★今年一年も皆様のご活躍とご多幸をお祈りいたします。(人^)

★あくづけ★

2011/01/12(wed)はっこ
WACATE-Magazineへんしゅぶ
Magazine@wacate.jp
<http://wacate.jp/Magazine/>